

**2026年3月期  
決算報告資料**

**松井証券株式会社**

2026年4月27日

# INDEX

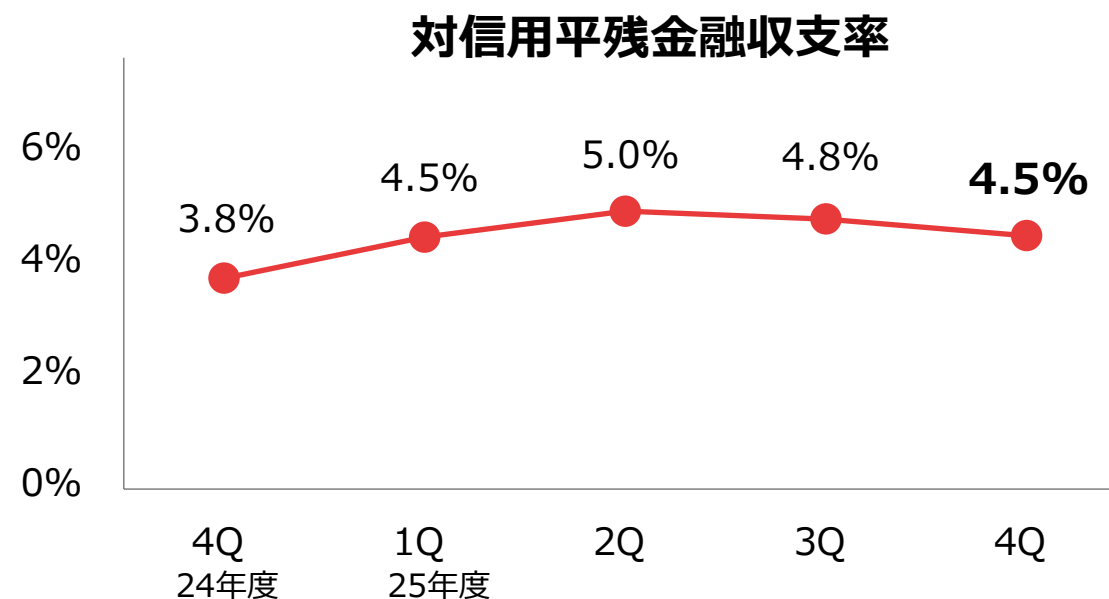
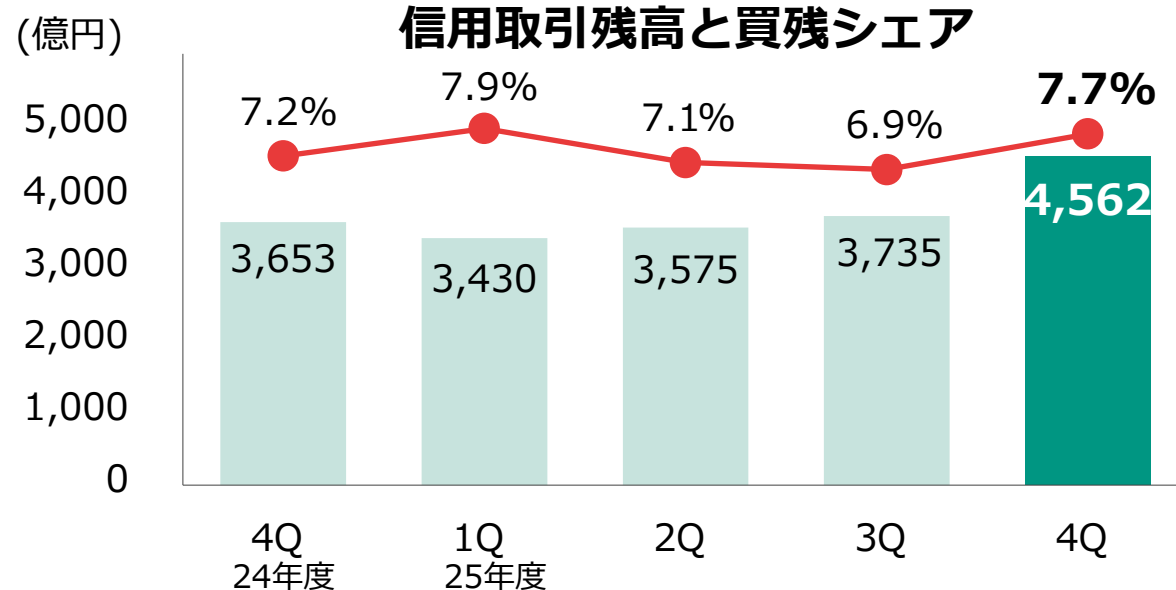
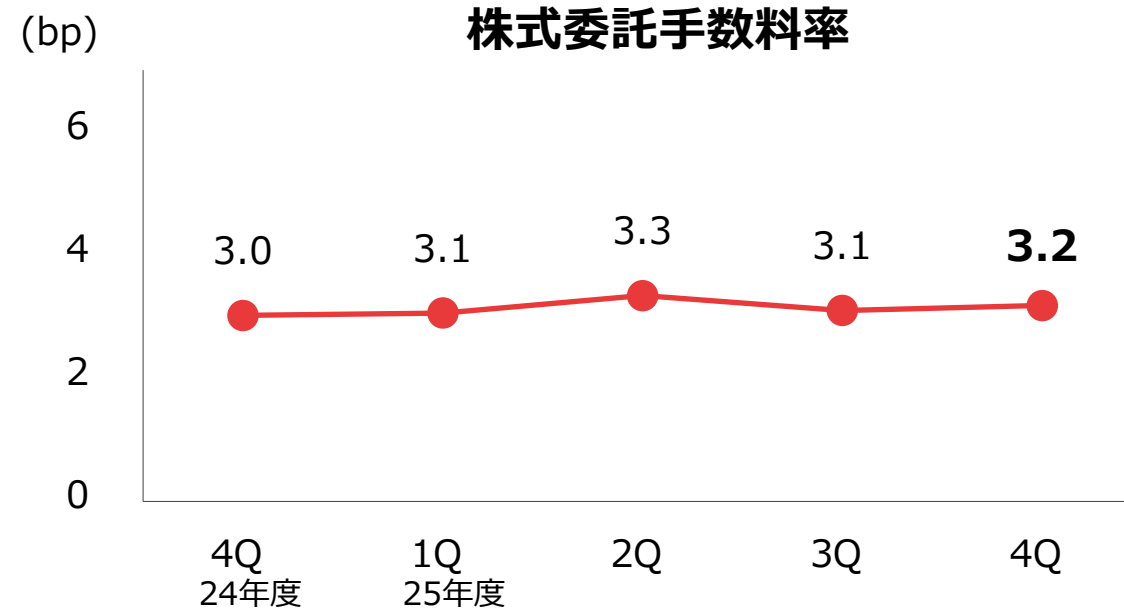
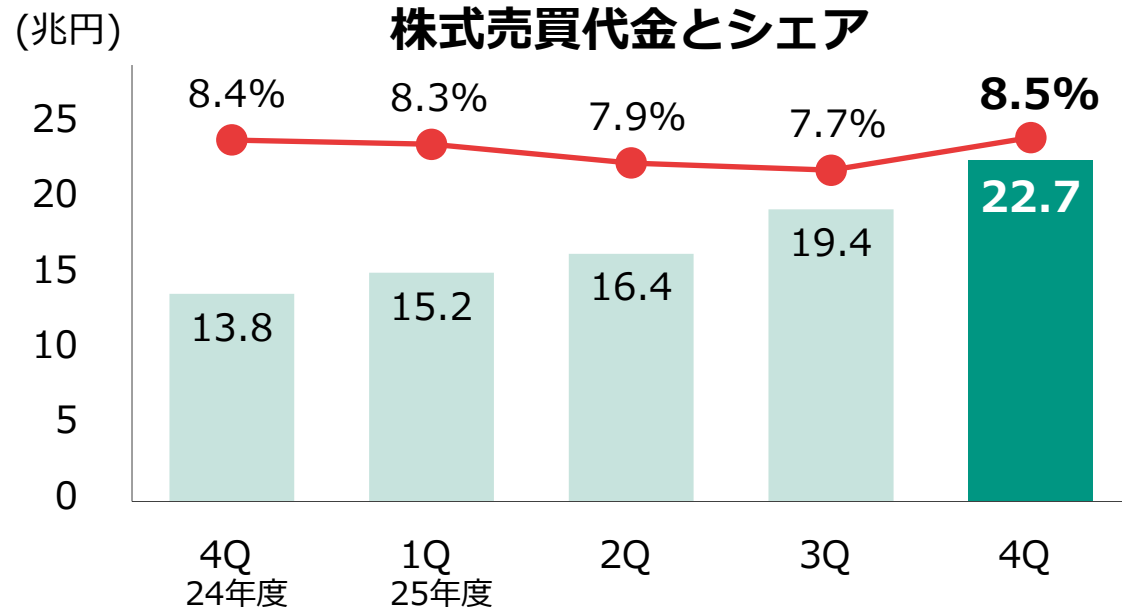
**01 決算の状況**

**02 ビジネスの状況**

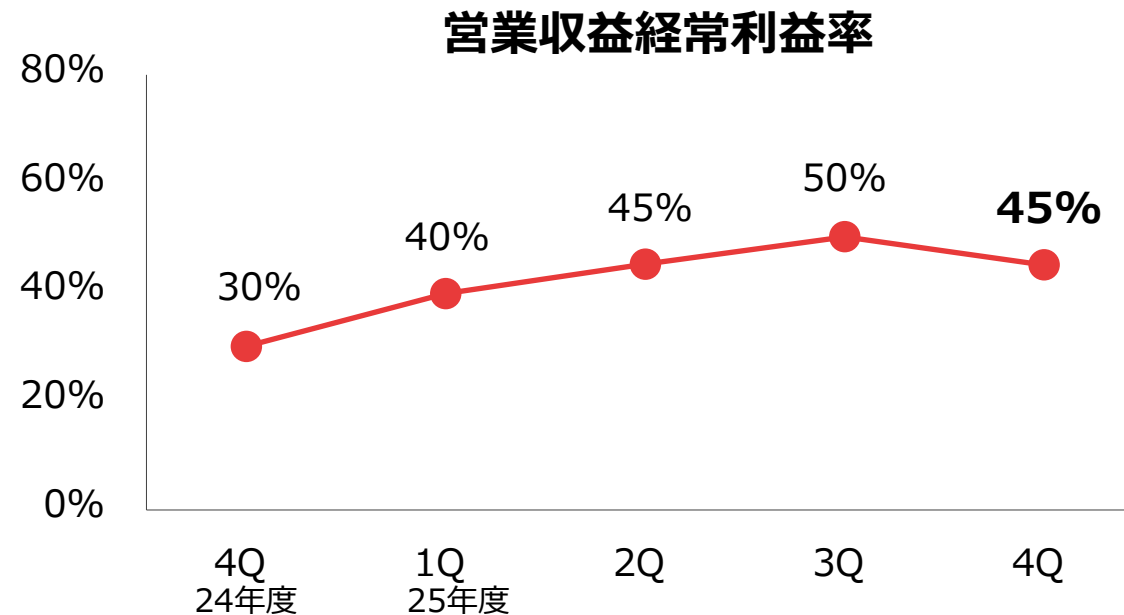
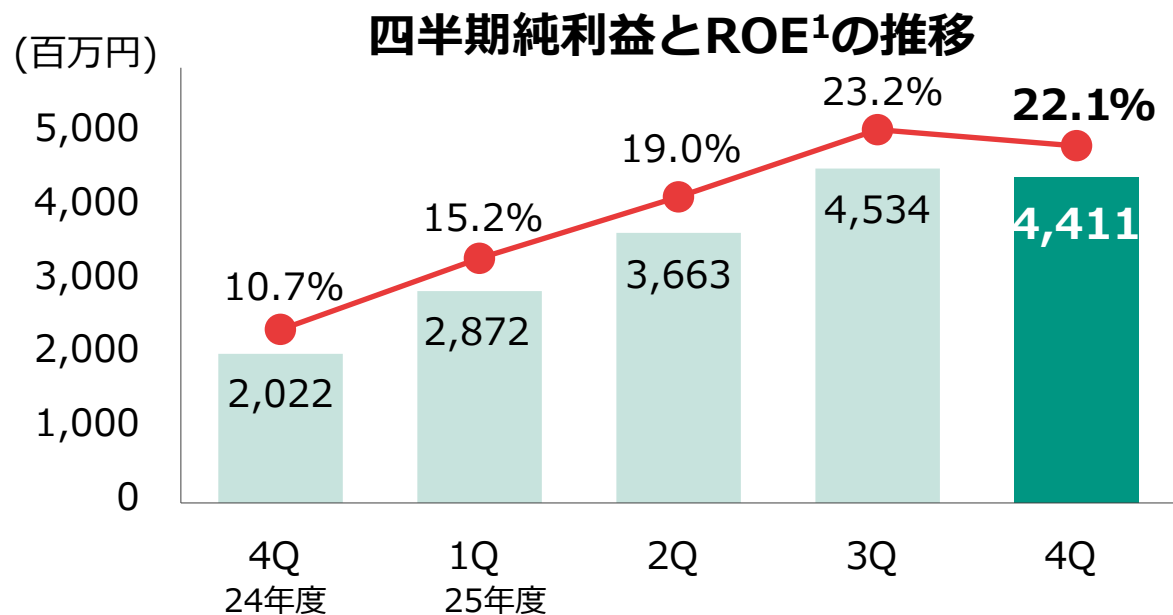
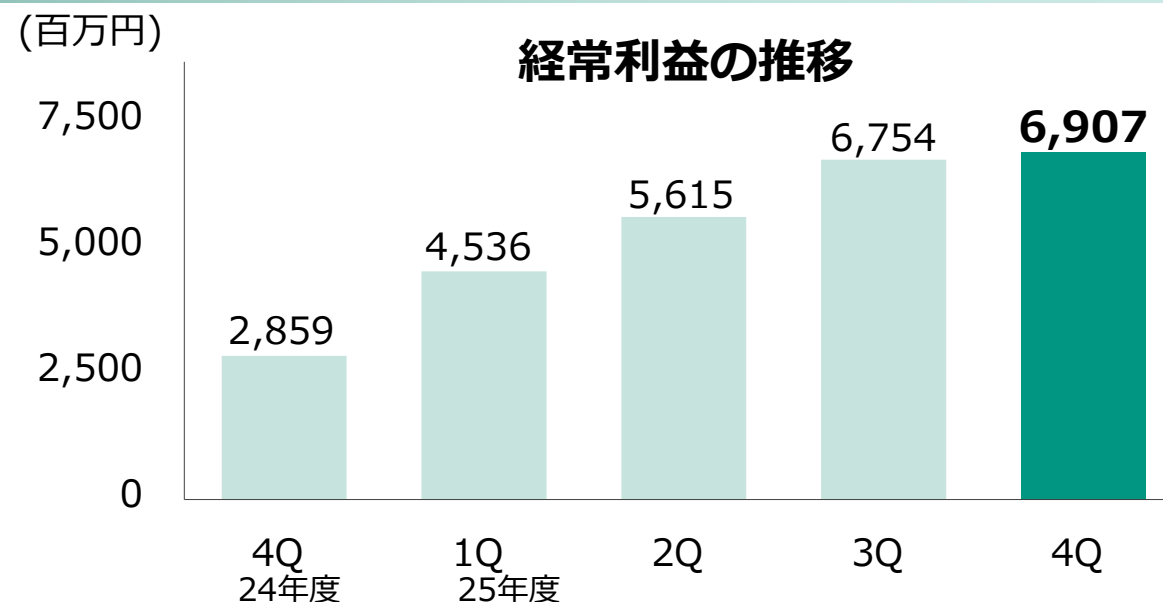
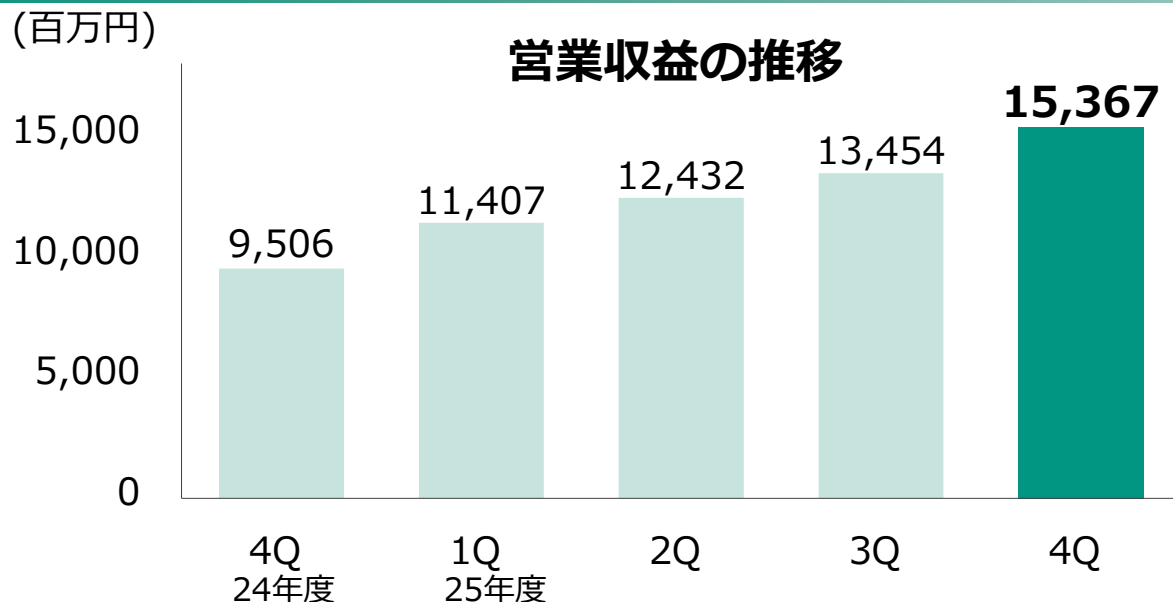
**03 経営戦略・取組み施策**

**Appendix**

# ビジネスの概況



# 決算の概況



注1：ROEは各四半期毎に年換算して算出

# 決算の状況

---

# 26年3月期の業績①

営業収益は**527億円**（前期比**34%増**）  
経常利益は**238億円**（同**56%増**）、当期純利益は**155億円**（同**47%増**）

（単位：百万円）

	25年3月期	26年3月期	前年同期比
営業収益	39,204	52,660	34%
純営業収益	37,135	49,087	32%
販管費	21,499	25,625	19%
営業利益	15,636	23,462	50%
経常利益	15,292	23,813	56%
当期純利益	10,501	15,480	47%
営業収益経常利益率	39%	45%	-
当社株式売買代金（兆円）	54.5	73.7	35%
当社信用取引平残（億円）	3,631	3,669	1%

# 26年3月期の業績②

受入手数料は**260億円**（前期比**30%増**）  
金融収支は**173億円**（同**29%増**）

（単位：百万円）

	25年3月期	26年3月期	前年同期比
受入手数料	19,969	25,963	30%
委託手数料	18,892	24,805	31%
株式・ETF	17,807	23,782	34%
先物・オプション	1,085	1,024	-6%
その他	1,078	1,158	7%
トレーディング損益	3,752	5,819	55%
金融収支	13,414	17,306	29%
金融収益	15,483	20,879	35%
金融費用	2,069	3,573	73%
純営業収益	37,135	49,087	32%
当社株式売買代金（兆円）	54.5	73.7	35%
当社信用取引平残（億円）	3,631	3,669	1%

# 26年3月期の業績③

## 販管費は**256億円**（前期比**19%増**）

（単位：百万円）

	25年3月期	26年3月期	前年同期比
取引関係費	6,752	8,448	25%
取引所・協会費	1,549	1,840	19%
通信・運送費	1,320	1,419	8%
広告宣伝費	2,723	3,840	41%
人件費	3,955	4,926	25%
不動産関係費	1,112	1,240	12%
事務費	5,348	6,366	19%
減価償却費	3,638	3,741	3%
租税公課	467	605	30%
貸倒引当金繰入	11	10	-4%
その他	217	287	32%
販管費合計	21,499	25,625	19%

# 26年3月期4Qの業績（直前四半期比）①

営業収益は**154億円**（直前四半期比**14%増**）  
経常利益は**69億円**（同**2%増**）、当期純利益は**44億円**（同**3%減**）

（単位：百万円）

	26年3月期3Q	26年3月期4Q	直前Q比
営業収益	13,454	15,367	14%
純営業収益	12,629	14,135	12%
販管費	6,383	7,182	13%
営業利益	6,247	6,953	11%
経常利益	6,754 <sup>※</sup>	6,907	2%
当期純利益	4,534	4,411	-3%
営業収益経常利益率	50%	45%	-
当社株式売買代金（兆円）	19.4	22.7	17%
当社信用取引平残（億円）	3,745	4,266	14%

※ 26年3月期第3四半期において、主として投資事業組合の運用損益による営業外損益約5億円を利益計上しています。

# 26年3月期4Qの業績（直前四半期比）②

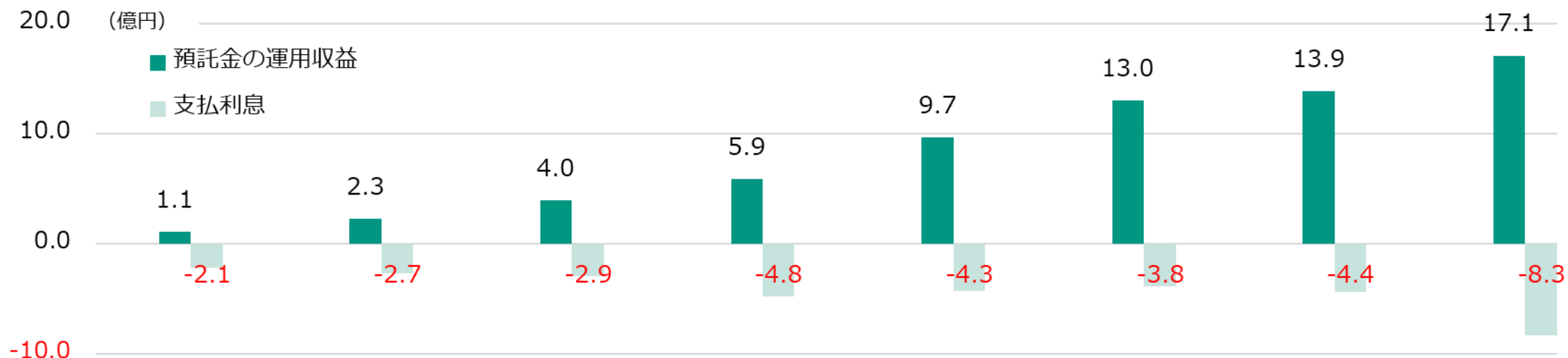
受入手数料は**79億円**（直前四半期比**17%増**）  
金融収支は**49億円**（同**7%増**）

（単位：百万円）

	26年3月期3Q	26年3月期4Q	直前Q比
受入手数料	6,736	7,880	17%
委託手数料	6,398	7,588	19%
株式・ETF	6,143	7,324	19%
先物・オプション	254	264	4%
その他	338	292	-14%
トレーディング損益	1,365	1,399	3%
金融収支	4,529	4,855	7%
金融収益	5,354	6,087	14%
金融費用	825	1,232	49%
純営業収益	12,629	14,135	12%
当社株式売買代金（兆円）	19.4	22.7	17%
当社信用取引平残（億円）	3,745	4,266	14%

## 預託金の増加と定期預金金利の上昇により運用収益が増加 支払利息も増加するものの収支は拡大

注) 運用収益・支払利息は四半期の数値  
その他は、四半期末の数値



	2024/6	2024/9	2024/12	2025/3	2025/6	2025/9	2025/12	2026/3
預託金	6,577	6,022	6,612	6,213	6,724	7,744	7,739	7,490
信用取引借入金	157	70	66	110	96	106	45	539
短期借入金	2,859	2,700	2,630	3,030	2,630	2,229	2,639	3,169

# 26年3月期4Qの業績（直前四半期比）③

## 販管費は72億円（直前四半期比13%増）

（単位：百万円）

	26年3月期3Q	26年3月期4Q	直前Q比
取引関係費	2,139	2,537	19%
取引所・協会費	458	510	11%
通信・運送費	351	360	2%
広告宣伝費	975	1,291	32%
人件費	1,169	1,399	20%
不動産関係費	302	330	9%
事務費	1,635	1,666	2%
減価償却費	944	967	2%
租税公課	155	180	16%
貸倒引当金繰入	△ 28	38	-
その他	67	65	-3%
販管費合計	6,383	7,182	13%

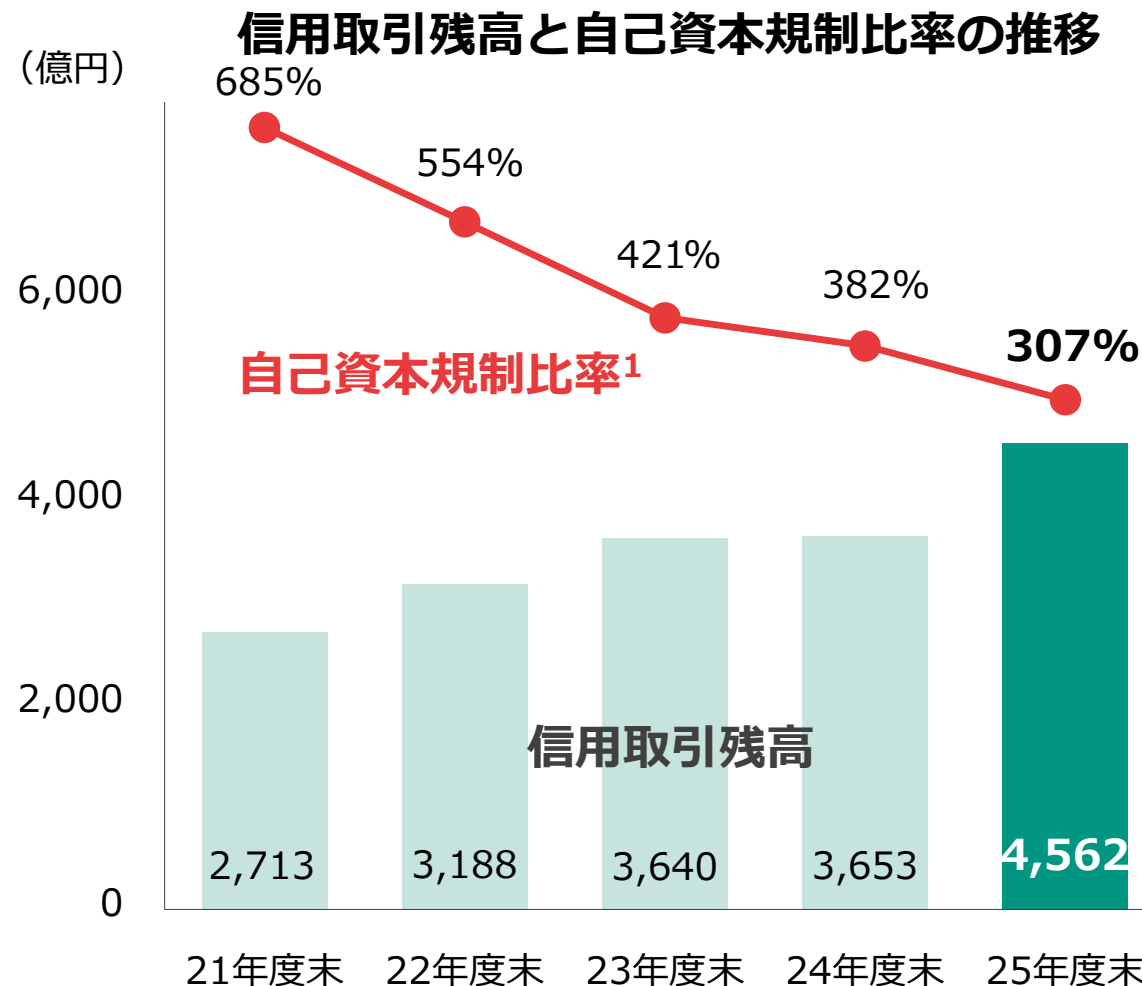
# 自己資本規制比率

現在の事業を支える上で、十分な規模の自己資本が積みあがっており  
現状における適正な水準を達成している

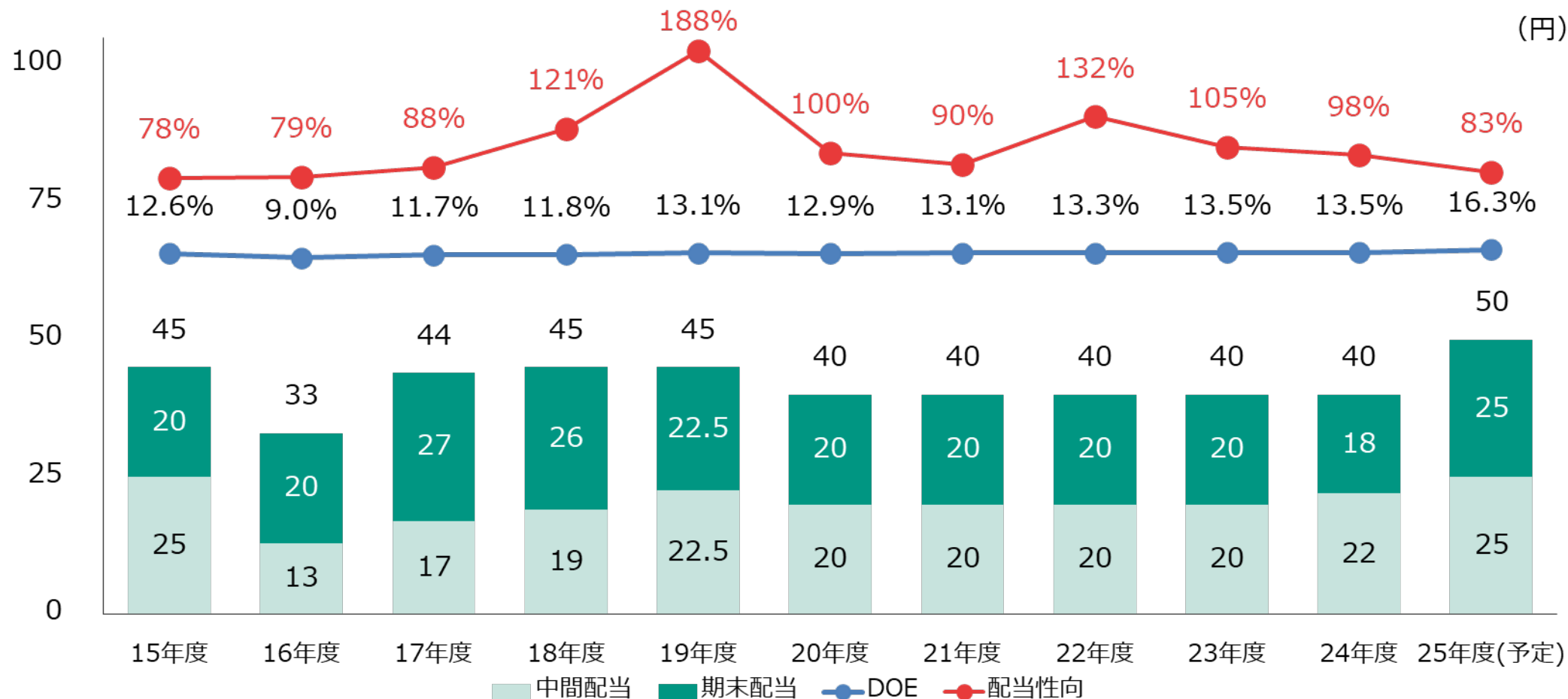
## 自己資本規制比率（2026年3月末）

基本的項目		(A)	73,535
補完的項目	その他有価証券評価差額金(評価益)等		2,371
	金融商品取引責任準備金等		5,859
	一般貸倒引当金		17
計		(B)	8,248
控除資産		(C)	26,647
固定化されていない自己資本 (A) + (B) - (C)		(D)	55,136
リスク相当額	市場リスク相当額		188
	取引先リスク相当額		11,917
	基礎的リスク相当額		5,826
計		(E)	17,932
自己資本規制比率		(D)/(E)	<b>307%</b>

※ 自己資本規制比率は社外流出後



**2026年3月期は、1株あたり25円の間配当を実施**  
**期末配当は、1株あたり25円を予定（年間予定配当額50円）**



注1：配当性向は普通配当に対する実績

## 株主への利益還元を重視する姿勢を明確化

### ■ 2026年3月期まで

- ・ 配当性向 : 60%以上 且つ
- ・ 純資産配当率 (DOE) : 8%以上



### ■ 2027年3月期から

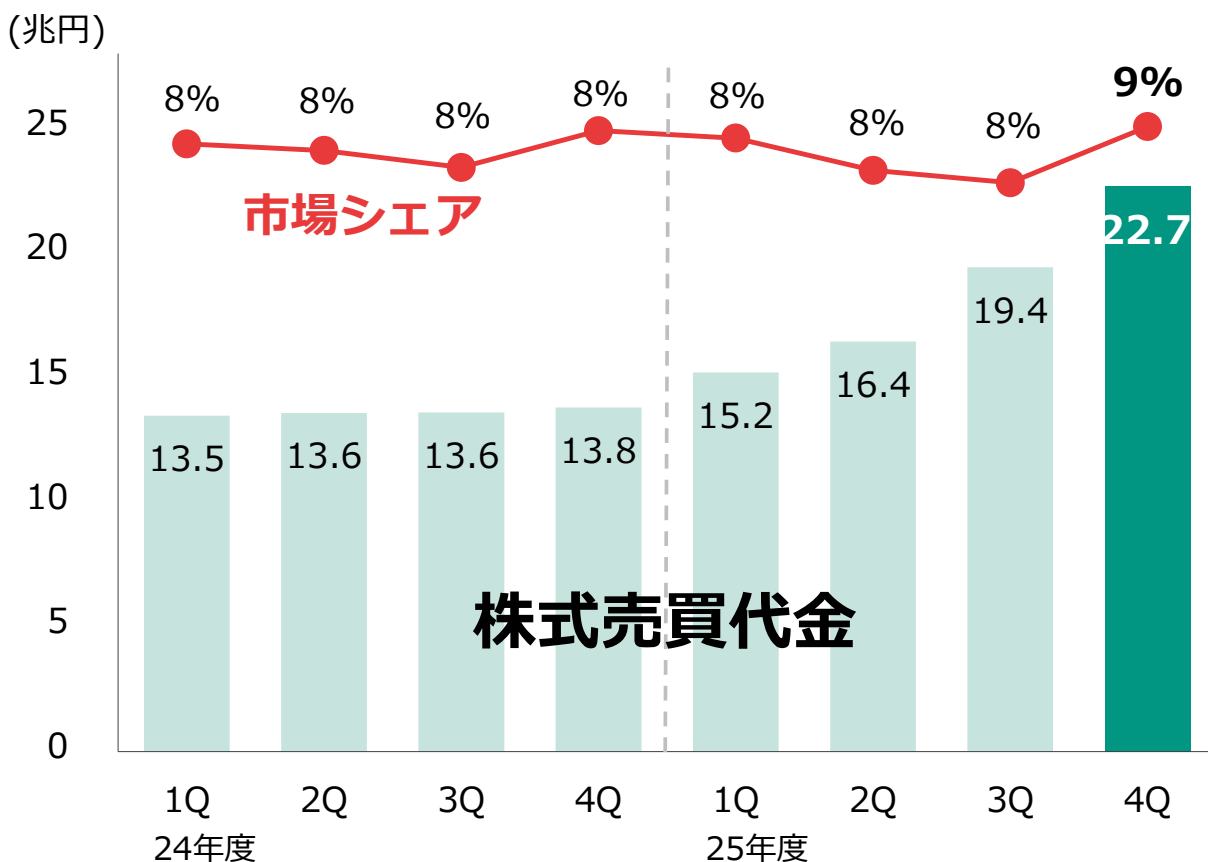
- ・ 配当性向 : 70%以上

# ビジネスの状況

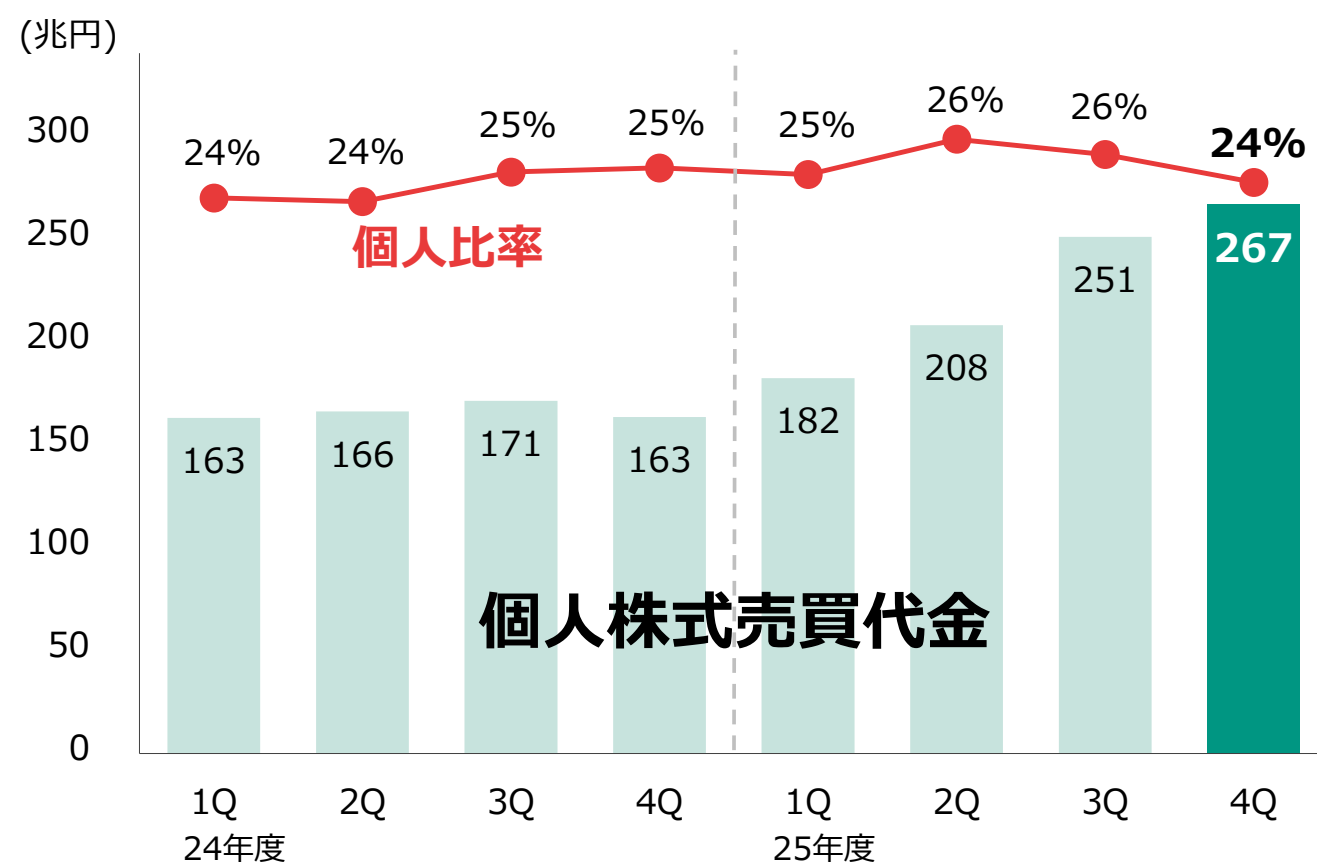
---

当社の市場シェアは **9%**

## 株式売買代金と市場シェア

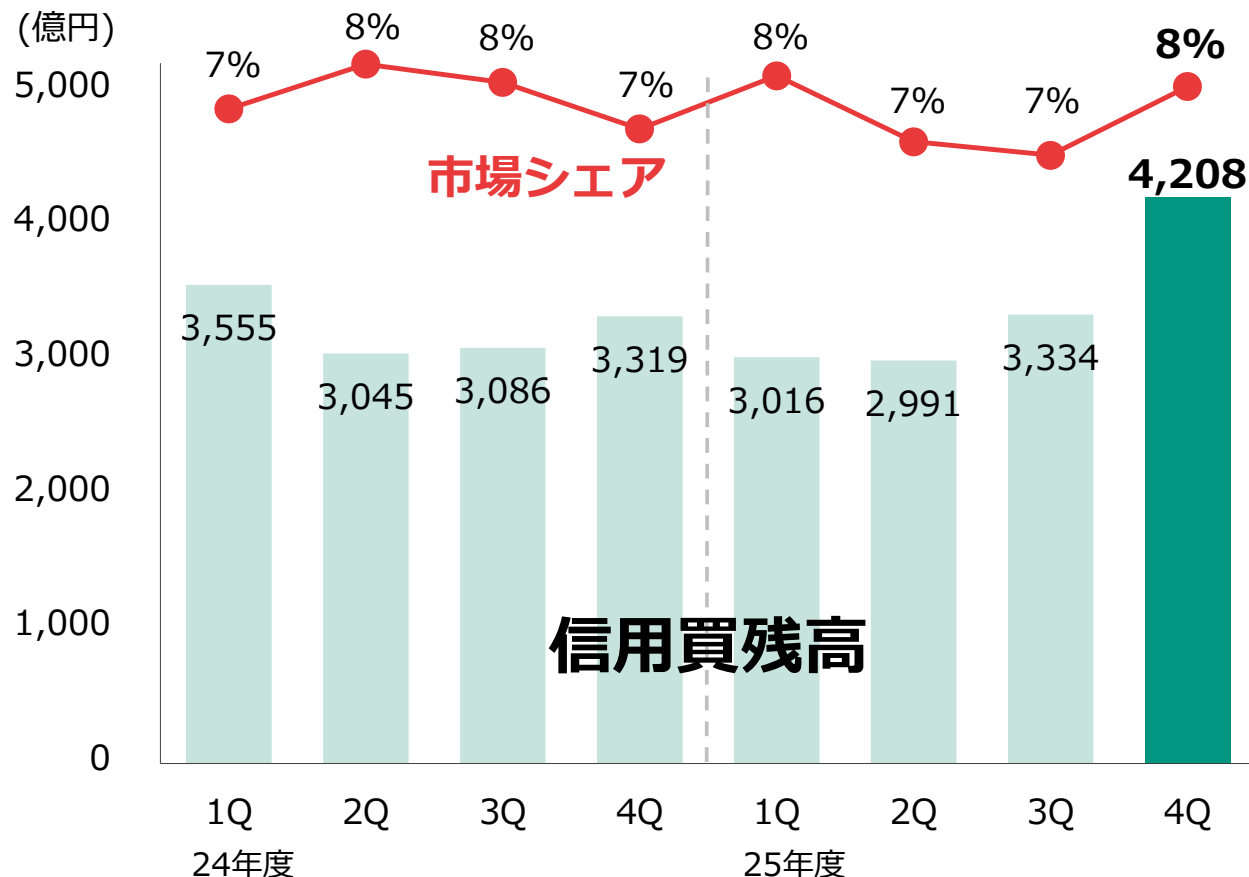


## 個人株式売買代金<sup>1</sup>と個人比率

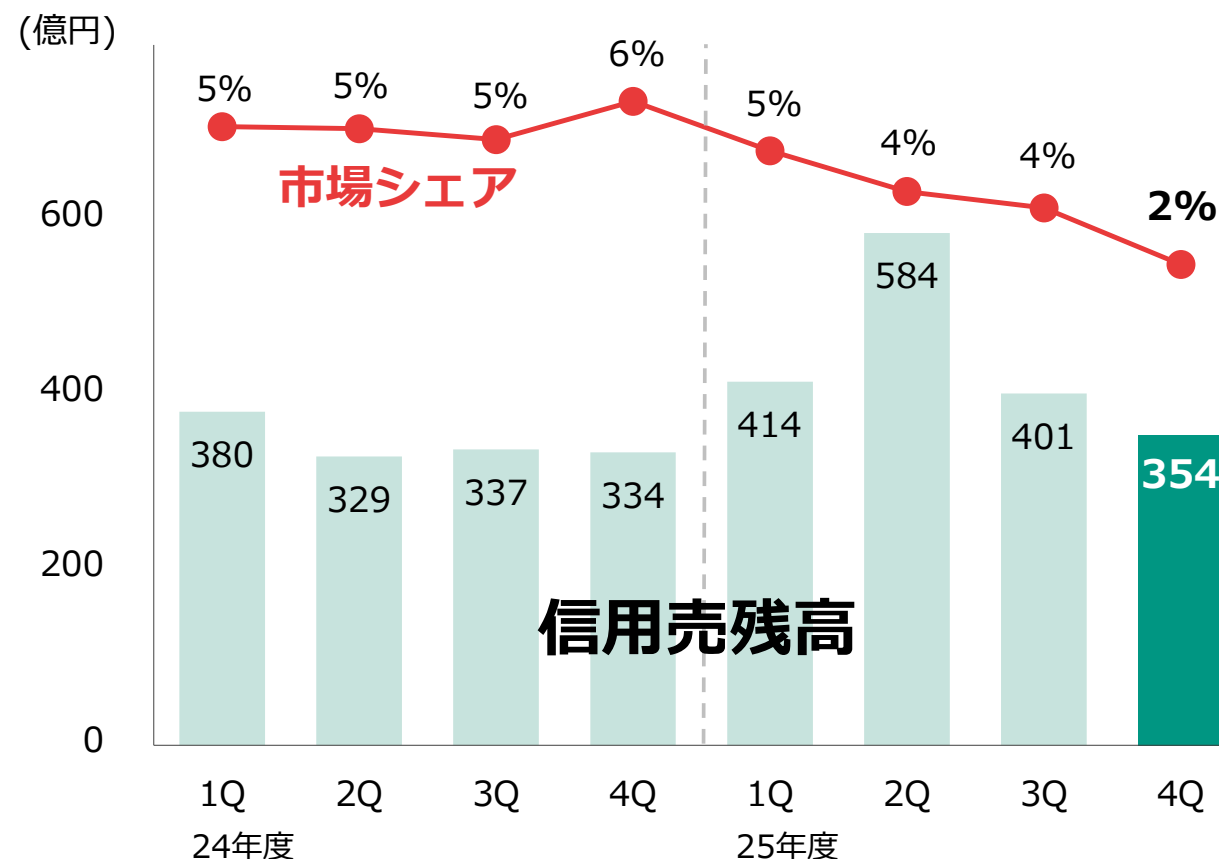


当社の市場シェアは、買残高 **8%**、売残高 **2%**

## 買残高と市場シェア



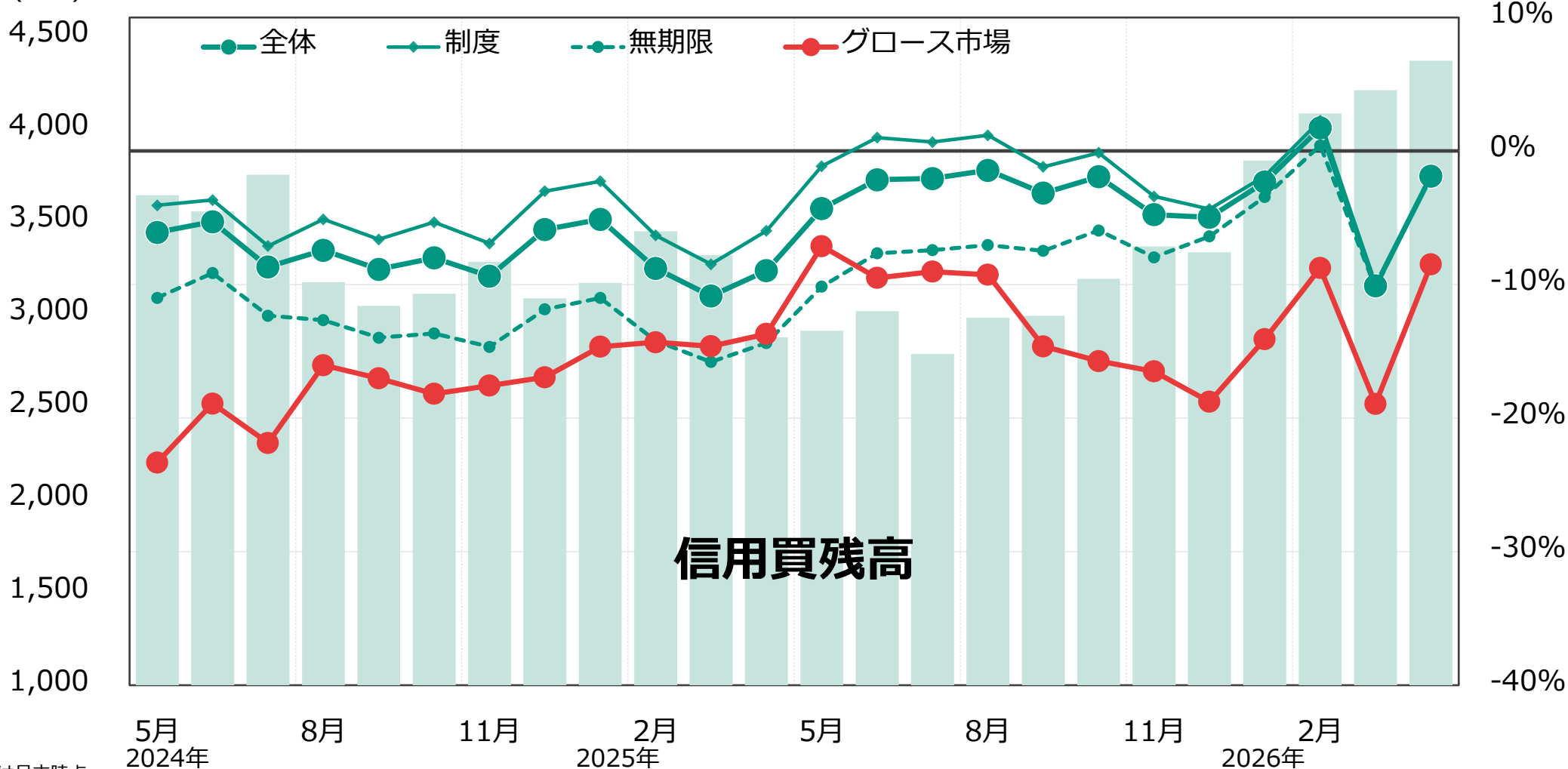
## 売残高と市場シェア



# 信用取引買残高に対する評価損益率

4月20日時点の評価損益率（全体）は **-1.9%**  
 グローブ市場における評価損益率は **-8.5%**

(億円)



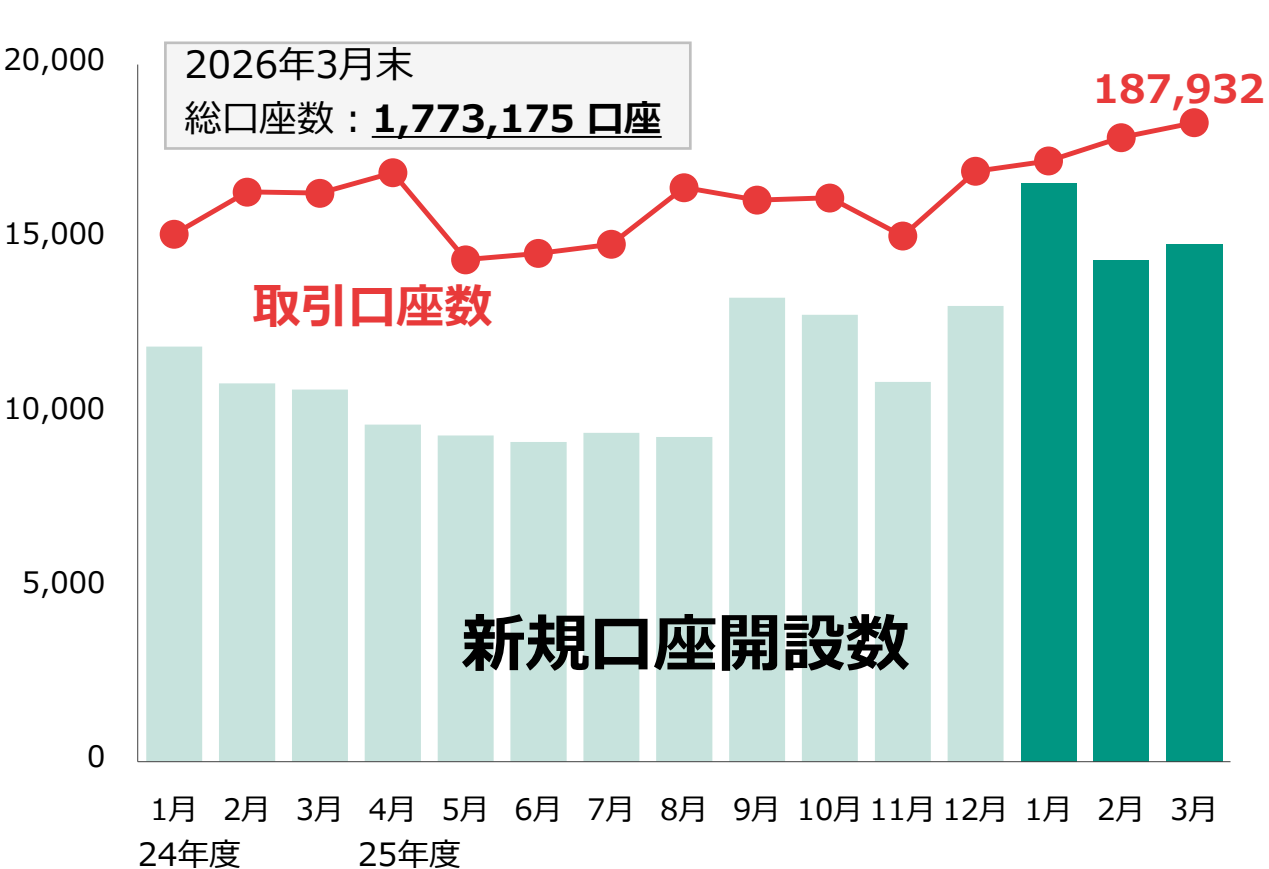
信用買残高

※データは月末時点

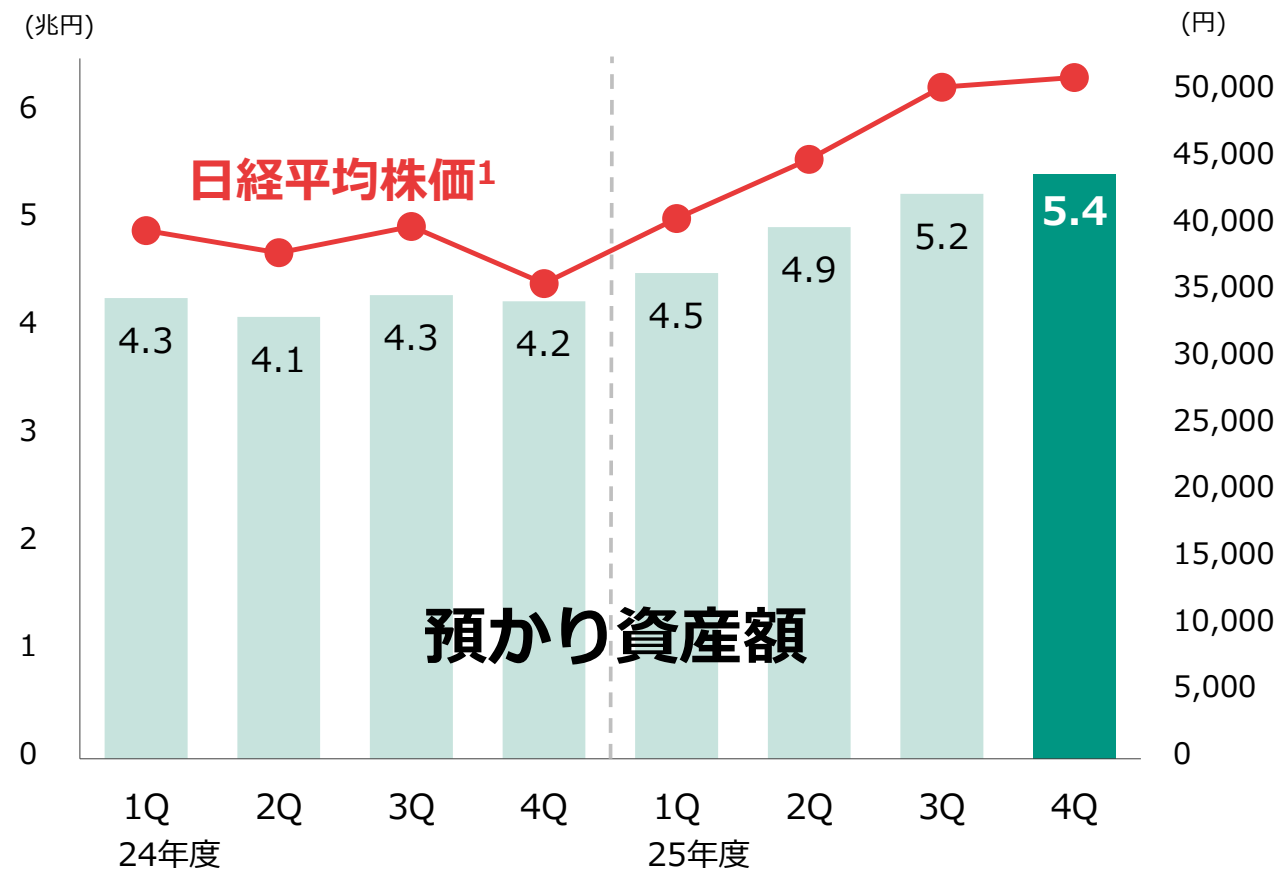
# 口座数・預かり資産

4Qの新規口座開設数は月間平均 約15,300口座

## 口座数の推移



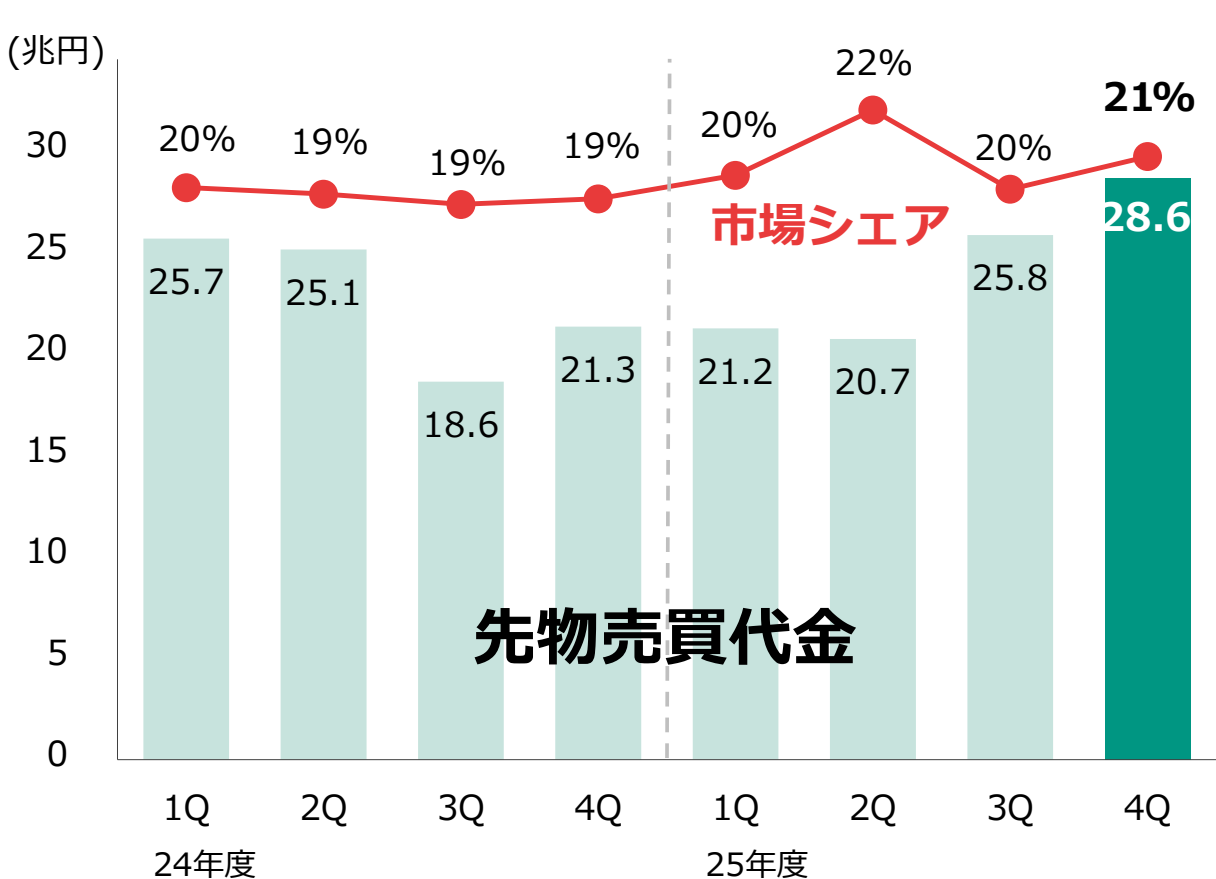
## 預かり資産



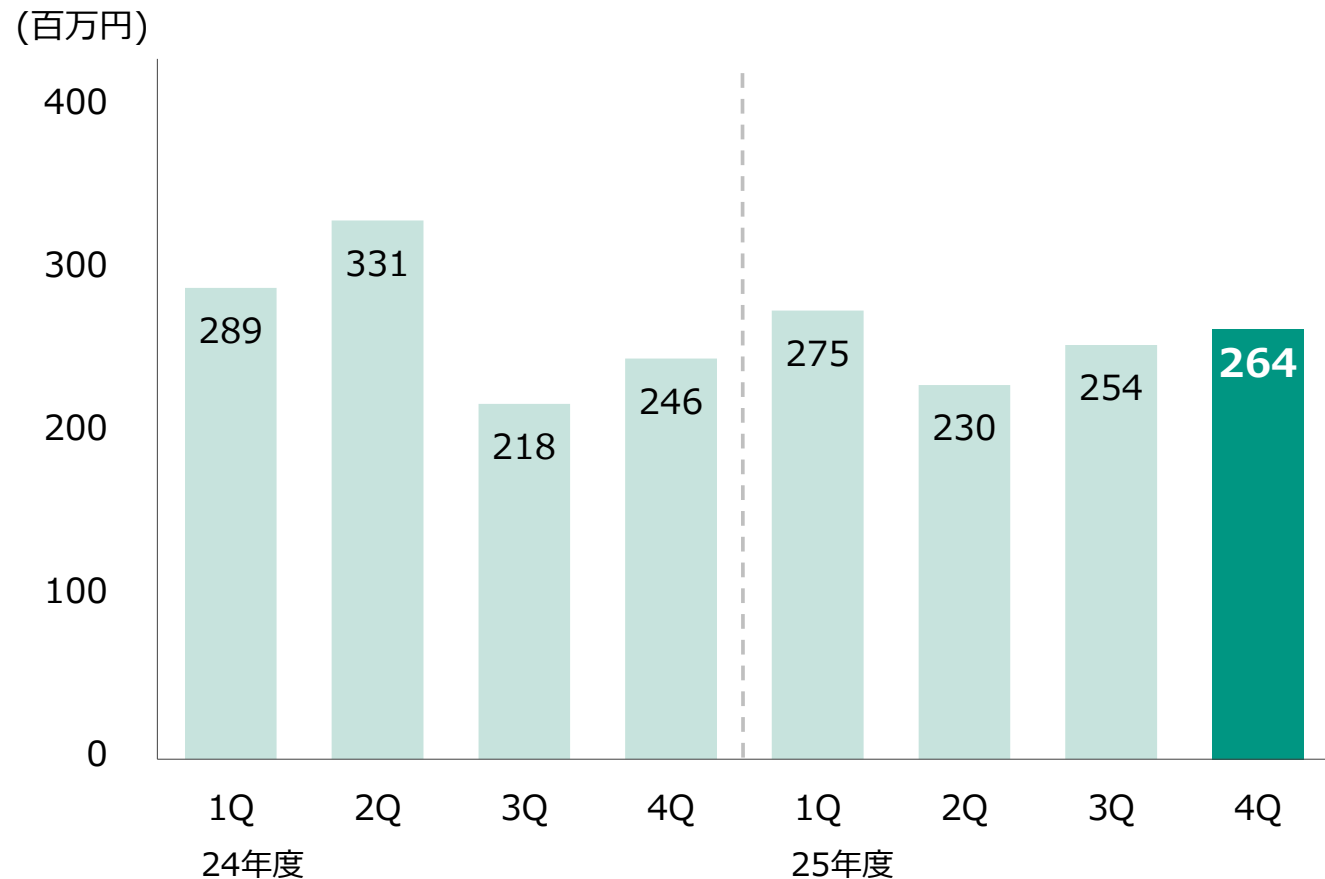
注1：日経平均株価は各期末終値

## 当社の市場シェアは **21%**

### 先物売買代金と市場シェア

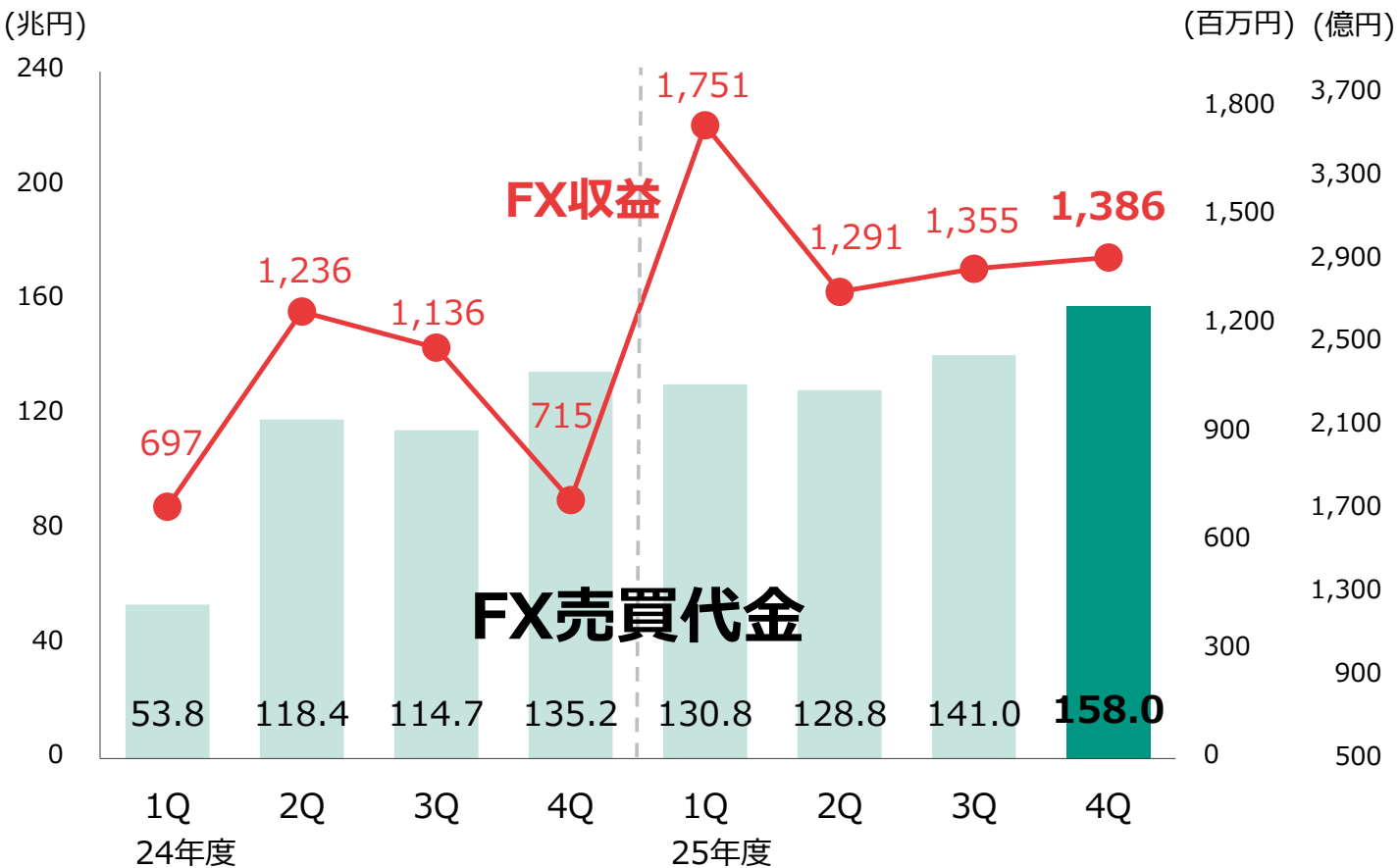


### 先物・オプション収益

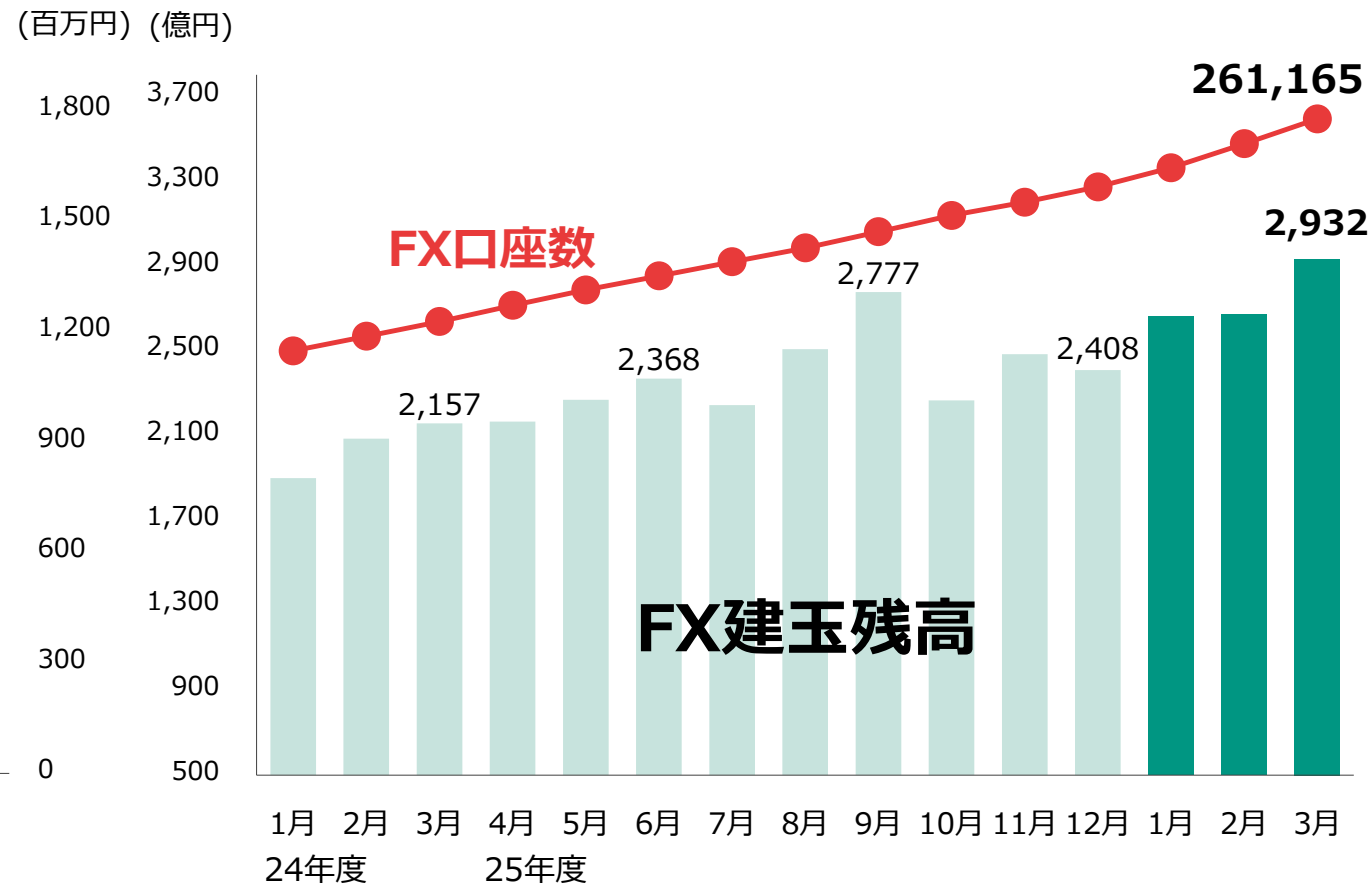


4Qの売買代金は **158.0兆円**、建玉残高は **2,932億円**

### FX売買代金とFX収益

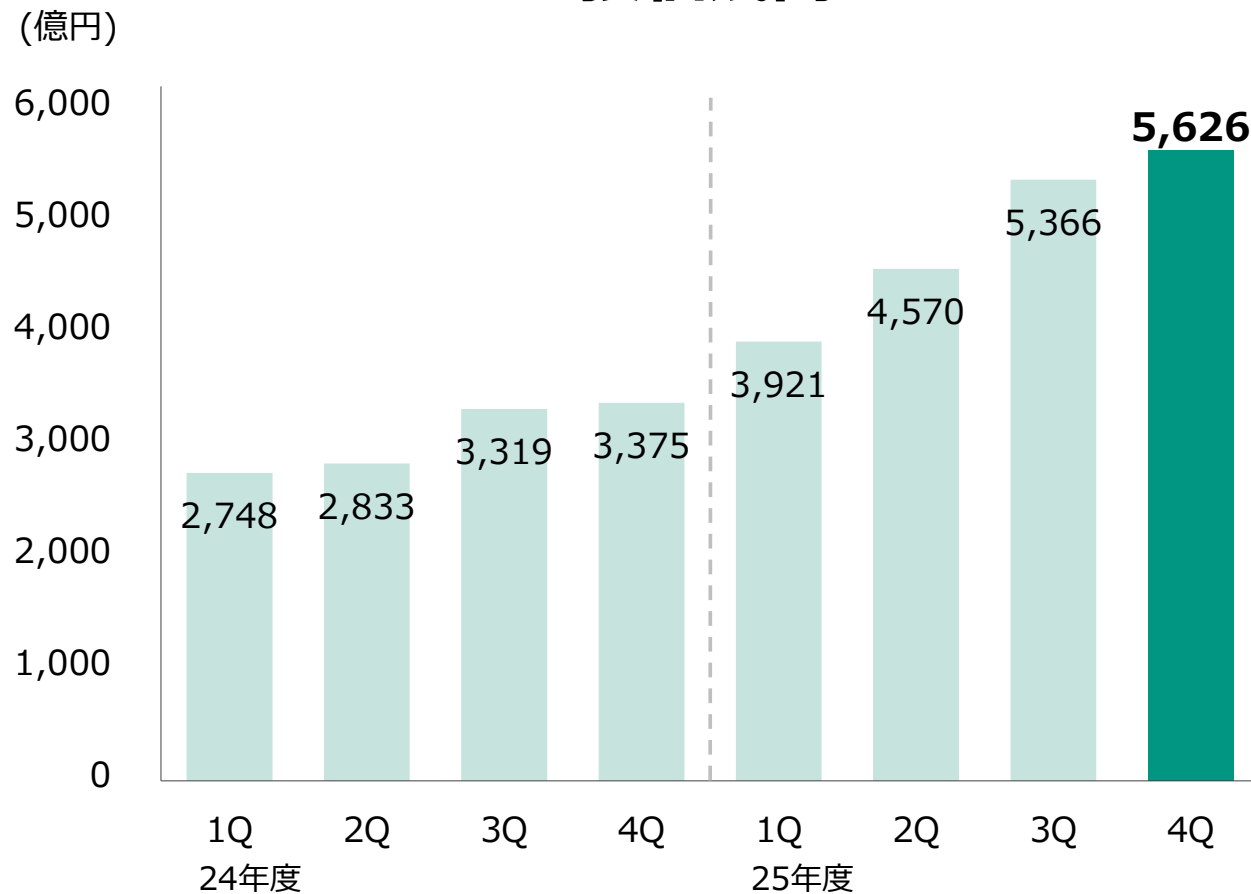


### FX建玉残高とFX口座数

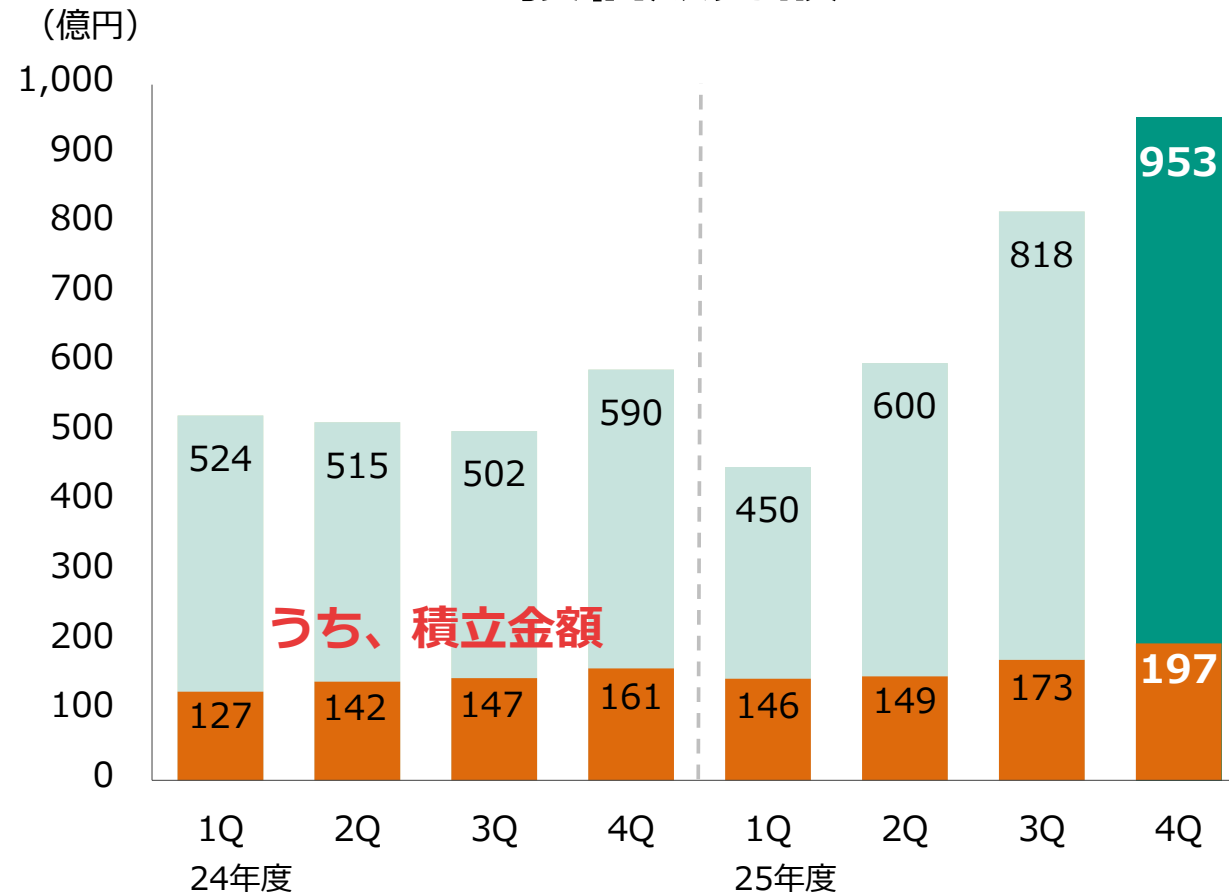


投資信託の残高は **5,626億円**  
取扱銘柄数は **1,941本** (2026年3月末時点)

## 投信残高



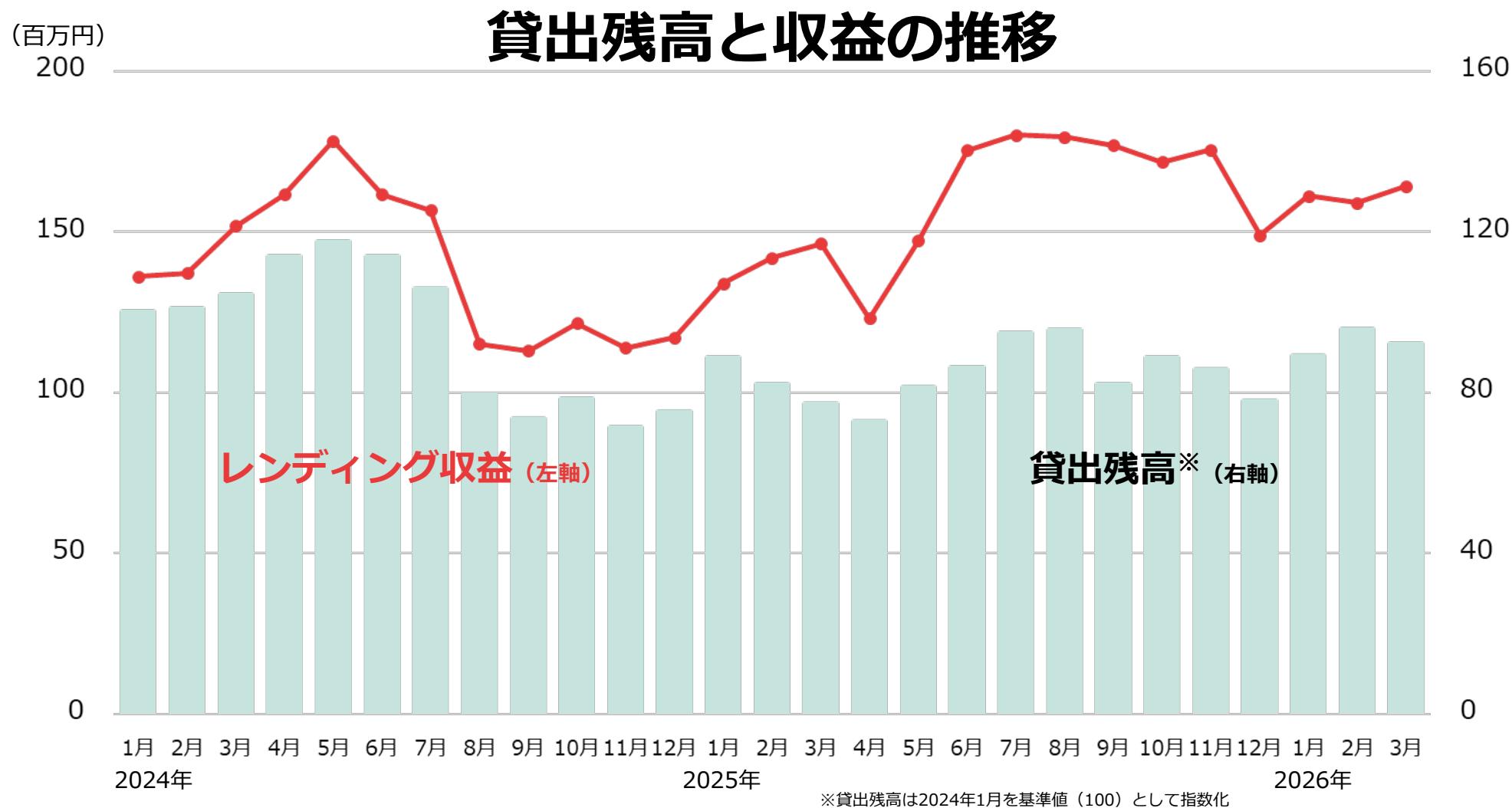
## 投信販売額



注：上場投資信託（ETF）、米ドルMMFを除く実績

# レンディング

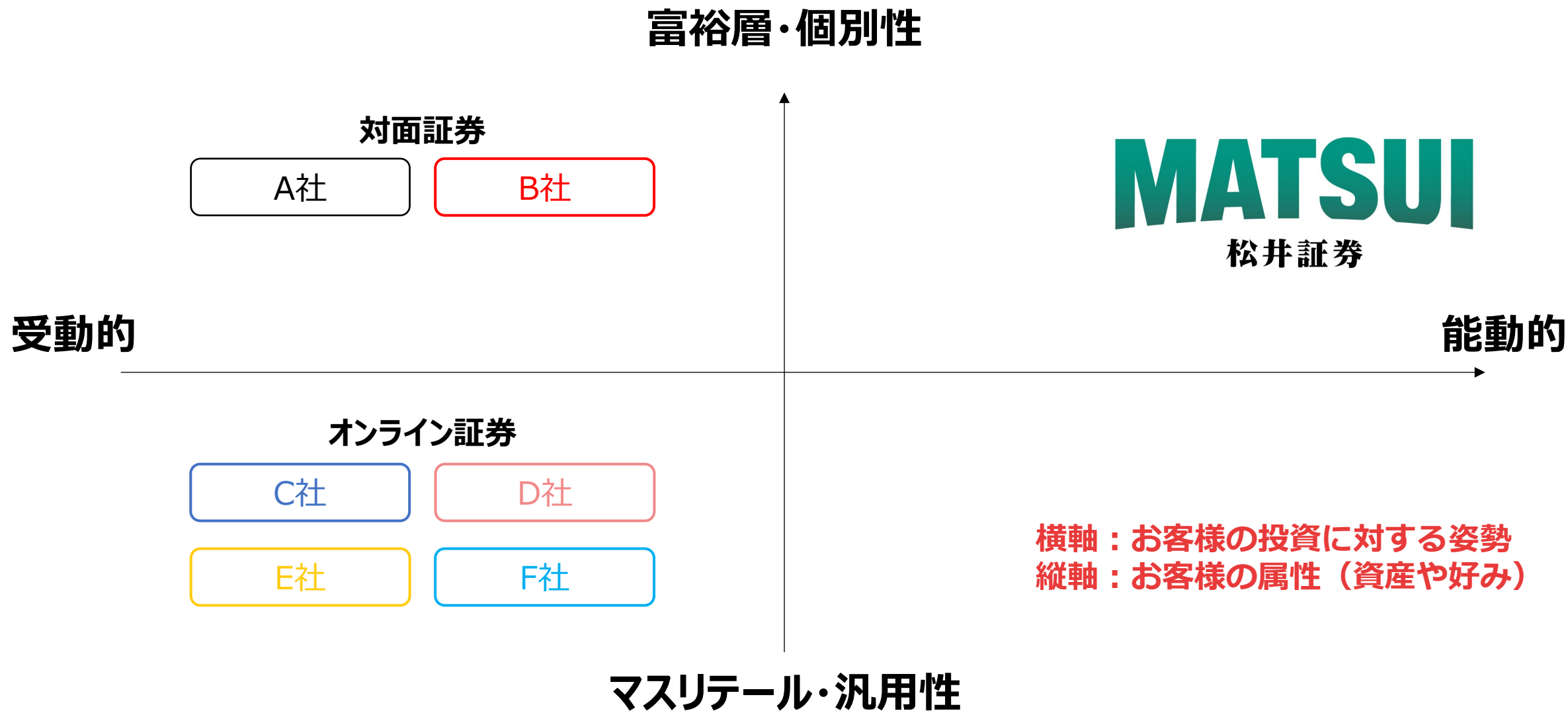
銘柄の需要により貸出残高は変動するものの、収益は安定的に推移



# 経営戦略・取組み施策

---

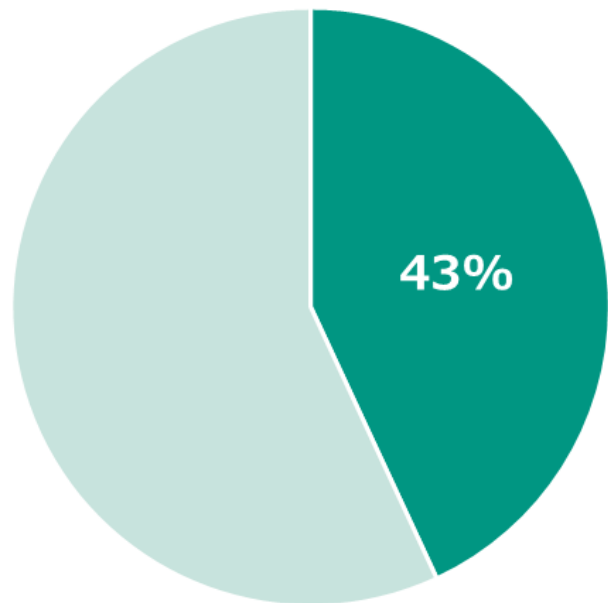
## 当社が考える証券業界の戦略ポジショニングマップ



# 新規口座開設に占める商品別口座の開設状況

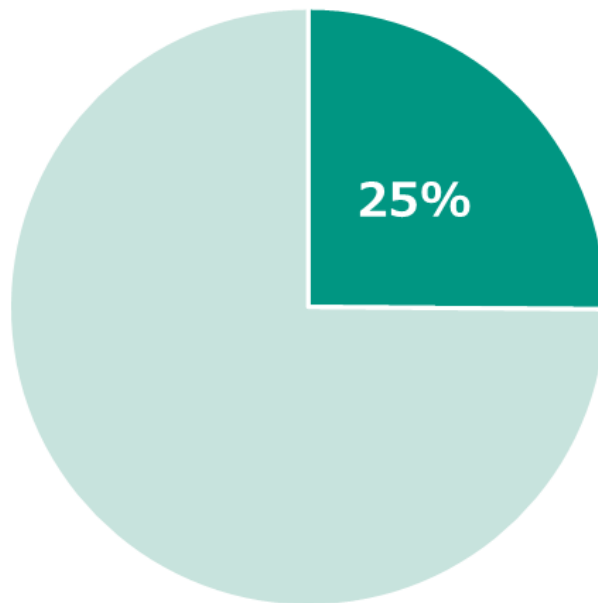
## 取引意欲の高い顧客層の獲得が順調に進展

### FX



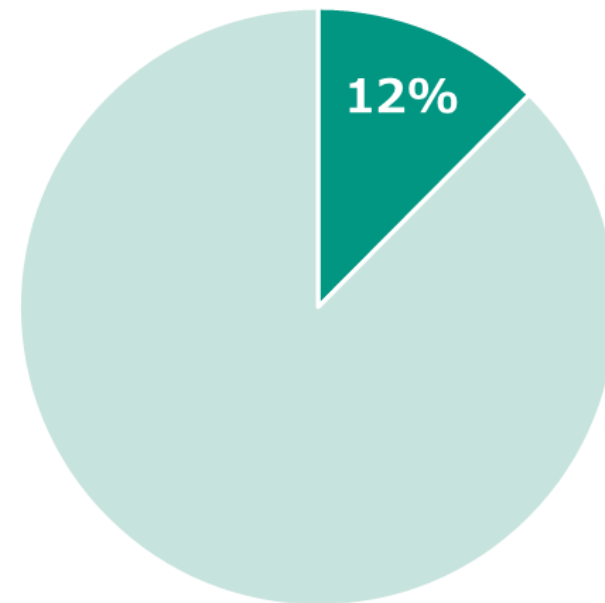
■ FX口座開設有

### 信用



■ 信用口座開設有

### 先物・オプション



■ 先物口座開設有

## 投資をより身近なものに感じられるイメージを喚起

- 自然体で親しみやすい魅力を持つ広瀬アリスさんをCMに起用
- ✓ 全都道府県でCMを展開



## 若年層へのブランディングを強化し、認知度向上を図る

### ■ FENNELとの取組を開始

- ✓ 業界初のeスポーツチームとのスポンサー契約締結



### ■ 各社の認知度（2026年1月）

社名	認知度
SBI	73.4%
楽天	72.6%
<b>松井</b>	<b>61.6%</b>
マネックス	52.1%
三菱UFJ eスマート	40.0%

## 「投資×エンタメ」で、業界No.1ブランドを確立

### ■ 予約の取れない株相談所

- ✓ 著名人が株式取引の悩みを相談する人気番組が合計1,000万回以上再生



### ■ チャンネル登録者・総再生回数

社名	登録者数	総再生回数
松井	80.6万人	1.8億回
楽天 (トウシル)	45.4万人	9,560万回
SBI (ビジネスドライブ!)	86.8万人	3,680万回
松井証券 マーケットナビ	16.8万人	2,735万回
マネックス (マネックスオンデマンド)	14.7万人	2,170万回
三菱UFJ eスマート (投資情報専門チャンネル)	8.3万人	350万回

## 人気コンテンツがオフラインにも拡大

### ■ 学べるラブリーの書籍化

- ✓ 動画で紹介した投資の知識やテクニックを凝縮



### ■ 投資戦略フェアEXPO2026

- ✓ 学べるラブリー出演メンバーによる講演が盛況
- ✓ 当社サービスの紹介や写真撮影等のファンサービスも実施




## マーケットに加え注目セクターや個別銘柄の動画も人気

### ■ マーケットナビ (YouTubeサブチャンネル)

タイトル	再生回数
 <p>エミンの月間株式相場見通し12月号 2026年株式投資戦略</p> <p>【特別対談】 未来の相場をエミン×森永が大胆予測【後編】</p> <p>エミンの月間株式相場見通し11月号 日経平均にアップサイドはない？</p>	<p>63.5 万回</p> <p>28万回</p> <p>27万回</p>

※2026年4月22日時点の再正回数

### ■ マネーサテライト (オウンドメディア)

タイトル	再生回数
 <p>【まだ割安な地銀株5選!!】“高配当・業績好調・財務健全”な銘柄をピックアップ</p> <p>【2026年のテンバガー候補銘柄は?】年始特番「俺のスクリーニング」岡村友哉氏編!</p> <p>【会員限定】禁断の質問をカリスマ同士がぶつけ合う! &lt;マグニフィセント5トレーダーズ&gt;</p>	<p>3.2 万回</p> <p>2.6万回</p> <p>2.5万回</p>

※2026年3月31日時点の再正回数

## アクティブな個人投資家に人気のサービスを継続的に改善

### ■ 東証売買内訳データ

✓ 日本株アプリ・PCに高度な分析機能を実装(2025/8/13~)

✓ 信用残・信用倍率の推移でより詳細な分析が可能に(2026/1/28~)



(千株)

日付	売残	買残	信用倍率
26/4/13	902.6	693.7	0.76
26/4/10	895.5	700.4	0.78
26/4/9	885.0	642.8	0.72
26/4/8	885.8	595.3	0.67
26/4/7	884.7	510.7	0.57
26/4/6	878.2	503.1	0.57
26/4/3	870.4	512.4	0.58

## 個人投資家に人気のIPOにも注力

### ■ IR動画制作サービスの開始

- ✓ 上場企業のIR動画を当社YouTubeで公開、個人株主の増加を支援
- ✓ 今後のIPO案件獲得にも寄与



【フィジカルAIの神経網】ロボットを動かすのに必要不可欠な通信に着目せよ/通信プラットフォームMEEQはテンバガーになれるのか? 【松井証券】

### ■ 参入率は引き続き上位に

社名	引受件数	参入率
SBI	52	96.3%
<b>松井</b>	<b>37</b>	<b>68.5%</b>
楽天	37	68.5%
マネックス	30	55.6%
岡三	29	53.7%
野村	27	50.0%
みずほ	27	50.0%
岩井コスモ	25	46.3%
東海東京	23	42.6%
大和	22	40.7%

※2025年4月～2026年3月実績

## スペック向上を通じて、より取引しやすい環境を提供

### ■ 業界最狭水準<sup>(※1)</sup>のस्पレッド

- ✓ コアタイム制の導入により、業界最狭水準のस्पレッドを実現

### ■ キャンペーンの実施

- ✓ 計27通貨ペアで業界最狭水準のस्पレッドを提供<sup>(※2)</sup>

松井証券  
MATSUI FX

【松井証券 FX】全通貨ペアにコアタイム制を導入

18通貨ペアの通常स्पレッドを縮小し、**業界最狭水準<sup>(※1)</sup>のस्पレッドを実現**

※2026年4月13日(月)取引分より。AM9:00～翌AM3:00 原則固定(例外あり)

縮小स्पレッド 27通貨ペア対象

**स्पレッド引き下げ  
キャンペーン**

最大 **70% OFF**  
※2

ユーロ/円 0.4 ▶ 0.2	豪ドル/円 0.4 ▶ 0.3	ポンド/円 0.6 ▶ 0.5
カナダ/円 1.7 ▶ 0.5	ユーロ/米ドル 0.3 ▶ 0.1	スイス/円 1.8 ▶ 0.7

2026/4/13(月) ▶ 6/30(火) MATSUI FX

※1 FXサービスの取扱い業者9社(楽天証券、三菱UFJ eスマート証券、外為どっとコム、DMM.com証券、レインボウ証券、ヒロセ通商、マツカ証券、GMOクリック証券、GMO外貨)の中央値と比較。2026年3月23日時点、当社調べ。

※2 FXサービスの取扱い業者9社(楽天証券、三菱UFJ eスマート証券、外為どっとコム、DMM.com証券、レインボウ証券、ヒロセ通商、マツカ証券、GMOクリック証券、GMO外貨)の中央値と比較。2026年4月1日時点、当社調べ。1回の取引数量が1万通貨までの取引(ランド/円、トルコリラ/円、ハンガリー/円は10万通貨までの取引)

## 取引の選択肢を拡充し、投資を楽しむお客様をサポート

### ■ 銘柄数の拡充

- ✓ 業界最多水準(\*)の約5,000銘柄を提供
- ✓ 人気銘柄 (PayPay等) はお客様の要望に応じて上場初日から取扱開始



### ■ 取引時間の拡大

- ✓ プレマーケットにおいて、17時から取引が可能



※ 当社調べ、オンライン証券大手5社(当社、SBI証券、三菱UFJ eスマート証券、マネックス証券、楽天証券)と比較、2026年4月20日現在

## 業界最高水準<sup>\*1</sup>年0.65% (税引前)の円普通預金金利を提供

### ■ 証券残高に応じた金利の適用

ランク種別	証券残高合計 <sup>*2</sup>	適用金利 <sup>*3</sup>
プラチナ	1,000万円以上	年0.65%
ゴールド	100万円以上	年0.52%
レギュラー	100万円未満	年0.41%

※1 2025年12月時点の金利について住信SBIネット銀行、松井証券調べ。円普通預金金利(優遇・上乗せ金利を含む)で比較  
※2 証券残高は、日本株(現物残高・信用建玉)、米国株(現物残高・信用建玉)、国内公募投信残高が対象です。  
※3 年利率・税引前。個人のお客様については、利息に対して20.315%(国税15.315%(復興特別所得税を含む)、地方税5%)の税率により源泉徴収されます(源泉分離課税)。マル優のお取扱いはありません。円普通預金の金利は変動金利です。2026年4月27日現在の金利です。

### ■ 参考

- ✓ 他行の円普通預金金利<sup>\*4</sup>

auじぶん銀行	年0.65%
SBI新生銀行	年0.50%
楽天銀行	年0.38%

- ✓ MATSUI Bank  
残高683億円、約19万口座<sup>\*5</sup>

※4 2026年4月時点の円普通預金金利(税引前)を掲載、金利適用には各社条件有。金利・サービス内容は予告なく変更される場合があります。最新の情報は各銀行の公式サイトをご確認ください。  
※5 預金残高・口座数は、2026年3月末時点。  
※ 松井証券は住信SBIネット銀行を所属銀行とする銀行代理業(許可番号:関東財務局長(銀代)第466号)を行っています。

## キャンペーンやポイント還元を通じてアクティブ投信が人気

### ■ 運用会社とのタイアップ

- ✓ これまで運用会社5社とのタイアップキャンペーンを実現
- ✓ 対象ファンドの特徴を動画で解説



【連続増配70銘柄に着目！】「日経連続増配株指数」への連動をめざす唯一のインデックスファンドを徹底解剖！  
<特番>

### ■ 2025年度売買額ランキング

銘柄名	
1	インバスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)
2	WCM 世界成長株厳選ファンド (予想分配金提示型)
3	eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500)
4	eMAXIS Slim 全世界株式 (オール・カントリー) <愛称:オルカン>
5	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型 (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型
6	iFreeNEXT FANG+インデックス
7	SBI 日本株4. 3ブル
8	Tracers NASDAQ100ゴールドプラス
9	楽天日本株4. 3倍ブル
10	SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド (為替ヘッジなし)

※松井証券店内データ、特定口座、赤色はアクティブファンド

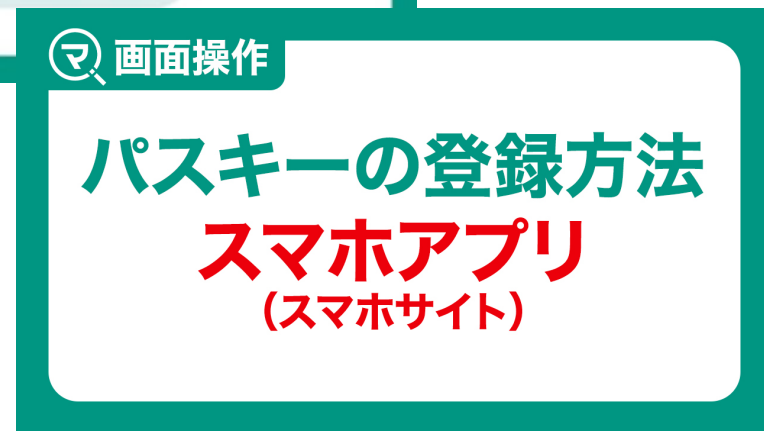
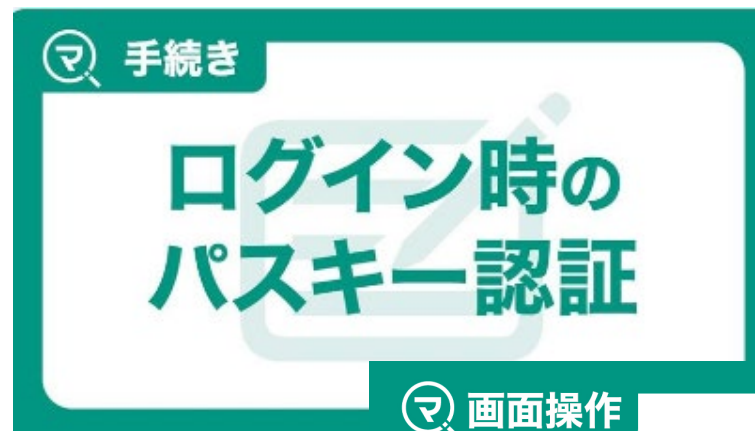
## 不正アクセスやフィッシング詐欺への対策を強化

### ■ パスキー認証（3/28～）



### ■ 充実の導入サポート

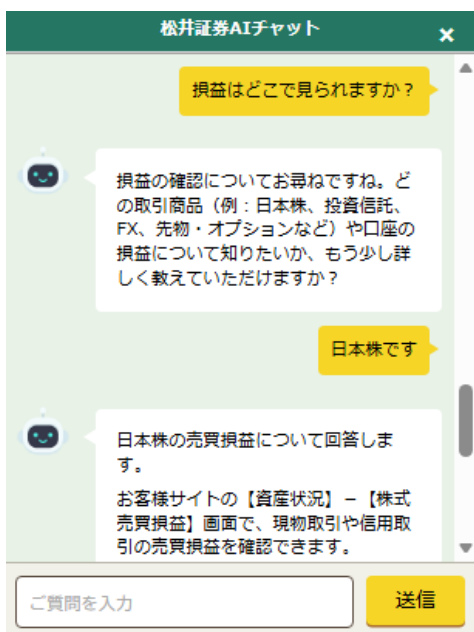
- ✓ パスキー設定専用ダイヤルの設置や動画による解説で導入をサポート



## つながりやすくクオリティの高いサポートを提供

### ■ 解決できるサポート体制

- ✓ 対話型AIエージェントの導入により24時間体制で問題を解決（解決率80%以上）
- ✓ 電話対応も高い応答率を維持



曖昧な質問に対して要件を特定するために聞き返す

Q&Aの情報をもとに要点を押さえた回答

### ■ サポート部門で最高評価を獲得

- ✓ 15年連続HDI格付け3つ星獲得
- ✓ J.D. パワー カスタマーセンターサポート満足度調査 ネット証券部門にて1位\*
- ✓ スマートフォンサイトユーザビリティランキング〈企業サイト編〉証券・保険業界で2年連続1位



※J.D. パワー 2025年カスタマーセンターサポート満足度調査<金融業界編>。直近1年以内にネット証券のカスタマーセンターサポートを利用した2,186名からの回答による。japan.jdpower.com/award

## 収益源の多様化と当社顧客への新たな価値提供

### ■ 新規事業領域の探索

- ✓ オンライン証券サービス以外の領域への事業開拓
- ✓ 変革期を迎える保険代理店業界における可能性への投資

### ■ FP相談サービスの開始

- ✓ お金の専門家（FP）による無料相談を通じ、お客様のライフステージに応じた最適な資産形成プランを提案
- ✓ 老後資金、教育費、住宅ローン、保険など幅広く相談対応
- ✓ 対話の中から潜在的な投資ニーズや投資への障壁を把握
- ✓ 最適な資産形成プランを提案し、不稼働顧客の活性化を促進
- ✓ 顧客理解の深化により、今後の商品・サービス開発への貢献も期待

**MATSUI**

松井証券

×

**Agent**  
IG Holdings

## ■ 強いブランドの構築

- ✓ 認知度の向上
- ✓ 顧客基盤の拡大

## ■ ラインアップの充実、特色のあるサービスの提供

- ✓ CFDサービスの展開
- ✓ 米国株式市場23時間化への対応

## ■ サービスクオリティの向上

- ✓ UI/UXの向上
- ✓ カスタマーサポートの拡充
- ✓ セキュリティの強化

## ■ 新規事業の探索・事業の多角化

- ✓ 新たな成長領域の探索

# Appendix

---

## 金利上昇時のBSにおける影響範囲と業績への影響

### 収益増加 (金融収益)

主に定期預金で運用  
金利上昇により  
運用収益増加

### 運用

預託金  
7,490億円

### 調達

預かり金  
4,268億円  
受入保証金  
3,697億円

### ニュートラルor

### 収益増加 (金融収益)

貸付金利を引き上げれば  
収益増加 (他社動向の影響)

信用取引貸付金  
(信用買残高)  
4,236億円

借入金  
3,708億円

### 費用増加 (金融費用)

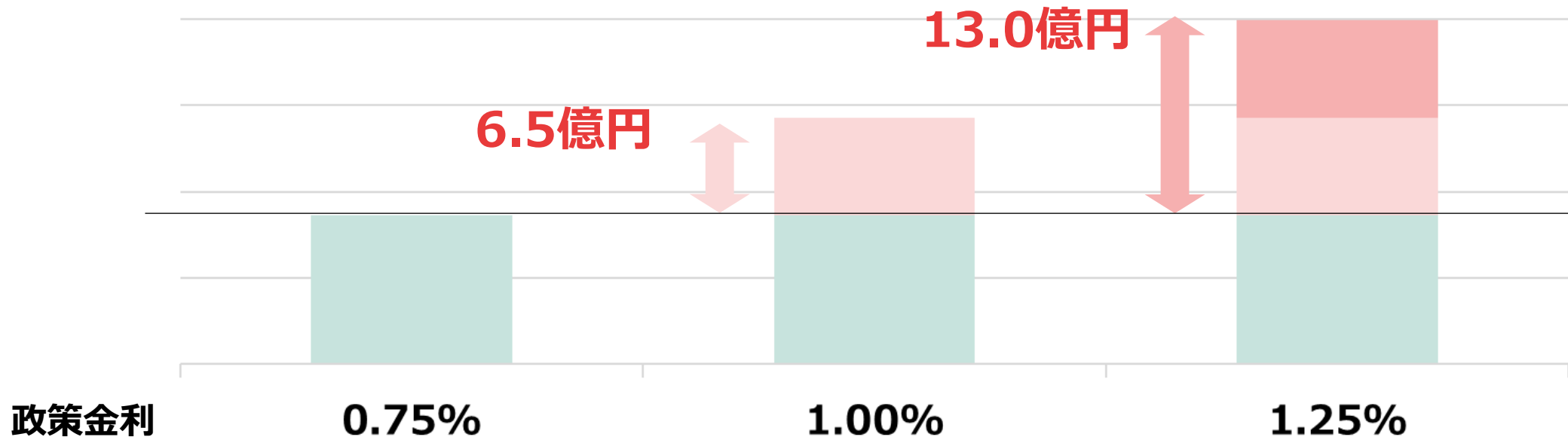
信用取引の資金調達  
コストの上昇により  
費用増加

## 政策金利+25bpあたり6.5億円/年の増収

### ■ 預託金の運用収益と支払利息の差額の推移イメージ

#### 【シミュレーションの前提】

- ✓ 預託金の運用額7,000億円、借入金3,000億円
- ✓ 政策金利25bp上昇につき、運用金利20bp・調達金利25bpアップ
- ✓  $7,000\text{億円} \times 20\text{bp} - 3,000\text{億円} \times 25\text{bp} = 6.5\text{億円}$



# 業績推移（四半期推移）①

(単位：百万円)

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
営業収益	9,895	10,390	9,413	9,506	11,407	12,432	13,454	15,367
純営業収益	9,448	9,925	8,951	8,811	10,713	11,610	12,629	14,135
販管費	5,213	5,260	5,374	5,652	6,045	6,016	6,383	7,182
営業利益	4,235	4,665	3,576	3,160	4,668	5,594	6,247	6,953
経常利益	4,225	4,677	3,531	2,859	4,536	5,615	6,754	6,907
当期純利益	2,894	3,203	2,381	2,022	2,872	3,663	4,534	4,411
営業収益経常利益率	43%	45%	38%	30%	40%	45%	50%	45%
当社株式売買代金（兆円）	13.5	13.6	13.6	13.8	15.2	16.4	19.4	22.7
当社信用取引平残（億円）	3,922	3,641	3,430	3,533	3,285	3,388	3,745	4,266

# 業績推移（四半期推移）②

（単位：百万円）

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受入手数料	5,218	5,376	4,604	4,772	5,246	6,101	6,736	7,880
委託手数料	4,944	5,123	4,320	4,505	4,996	5,823	6,398	7,588
株式・ETF	4,655	4,792	4,102	4,258	4,721	5,593	6,143	7,324
先物・オプション	289	331	218	246	275	230	254	264
その他	274	253	284	267	250	278	338	292
トレーディング損益	695	1,230	1,128	700	1,759	1,295	1,365	1,399
金融収支	3,535	3,320	3,219	3,339	3,708	4,214	4,529	4,855
金融収益	3,982	3,785	3,681	4,034	4,402	5,036	5,354	6,087
金融費用	447	465	463	695	694	822	825	1,232
純営業収益	9,448	9,925	8,951	8,811	10,713	11,610	12,629	14,135
当社株式売買代金（兆円）	13.5	13.6	13.6	13.8	15.2	16.4	19.4	22.7
当社信用取引平残（億円）	3,922	3,641	3,430	3,533	3,285	3,388	3,745	4,266

# 業績推移（四半期推移）③

（単位：百万円）

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
取引関係費	1,649	1,539	1,653	1,911	1,925	1,849	2,139	2,537
取引所・協会費	398	393	369	390	433	439	458	510
通信・運送費	328	323	329	339	362	347	351	360
広告宣伝費	647	530	656	890	834	741	975	1,291
人件費	976	1,000	999	979	1,227	1,132	1,169	1,399
不動産関係費	267	277	282	286	305	303	302	330
事務費	1,287	1,305	1,382	1,374	1,465	1,600	1,635	1,666
減価償却費	857	903	924	955	919	911	944	967
租税公課	113	134	104	116	132	138	155	180
貸倒引当金繰入	3	44	△ 36	△ 1	△ 3	3	△ 28	38
その他	61	60	66	31	75	81	67	65
販管費合計	5,213	5,260	5,374	5,652	6,045	6,016	6,383	7,182

投資をまじめに、おもしろく。

# MATSUI

松井証券

本資料に記載している事項は、資料作成時点における弊社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。本資料のいかなる部分も一切の権利は松井証券株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

松井証券株式会社 戦略企画部 IR担当

Tel : 03-5216-0784 Mail : ir@matsui.co.jp